

2022 年度
学校教育における
即興型英語ディベートの推進加速事業
中間報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2022 年 10 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



目次

日付	イベント名
4月16日	大成中学・高等学校 体験会
4月21日	岡山学芸館清秀中学 体験会
4月22日	星城中学校 体験会
4月27日	姫路市立琴丘高校 体験会
4月27日	静岡県立静岡高校 体験会
4月28日	立命館高校 体験会
4月30日	清風南海中学校・高等学校 体験会
5月6日	三重県立四日市高校 体験会
5月7日	徳島県立徳島北高校 体験会
5月10日	一ツ葉高校立川キャンパス 体験会
5月13日	岐阜県立岐阜高校 体験会
5月22日	愛知県立岡崎高校 体験会
5月24日	東京都立田柄高校 体験会
5月27日	静岡県立浜松北高校 体験会
6月2日	栃木県立栃木高校 体験会
6月9日	神奈川県立横須賀大津高校 体験会
6月9日	上宮学園中学校 体験会
6月10日	白梅学園清修中高一貫部 体験会
6月11日	東海交流大会
6月14日	白鵬女子高校 体験会
6月15日	長崎南山高校 体験会
6月17日	不二聖心女子学院高校 体験会
6月22日	東京都立忍岡高校 体験会

日付	イベント名
6月23日	静岡理工科大学星陵高校 体験会
6月24日	神奈川県英語4技能指導法研究会第1回
7月12日	奈良県立奈良高校 体験会
7月12日	大阪府立北野高校 体験会
7月14日	東京都立千早高校 体験会
7月15日	愛知県立天白高校 体験会
7月15日	滋賀県立彦根東高校 体験会
7月20日	仙台青陵中等教育学校 体験会
7月22日	滋賀県立膳所高校 体験会
7月23日	青森交流会
7月28日	鹿児島育英館高等学校 体験会
8月2日	神奈川県英語4技能指導法研究会 第2回
8月3日	京都市立堀川高校 体験会
8月3日	神奈川県英語4技能指導法研究会 第3回
8月4日	ノートルダム清心中高等学校 体験会
8月5日/6日	夏合宿
8月17日	兵庫県立神戸高校 体験会
8月24日	勝田中等教育学校 体験会
8月27日	関西交流大会
9月8日	福島県立安積高校 体験会
9月17日	神奈川高校生 体験会
9月23日	北海道交流会
9月30日	東京都立日比谷高校 体験会



PDA 大成中学校・高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年4月16日（土）14:00-16:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒6名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、PDA スタッフよりルールの確認と POI (Point of Information) の練習が行われました。「POI！」と言いながら片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばす POI のポーズをすることができました。



POI の練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*Homework should be abolished.* 宿題を廃止すべきである。」でした。肯定側は、より時間が有効活用できるという点、自分が勉強したいことを勉強することができるという点について説明し、否定側は、勉強習慣が身につく、それが将来の役に立つということを説明しました。POIを通して質疑応答にチャレンジする様子も見られました。



堂々とスピーチ



ポーズをきめて POI！

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。肯定側はアルバイトでしか得られないさまざまな価値ある経験を積めることや社会に必要な能力を得られるという点について、否定側は勉強との両立が難しいという点について主張しました。実践（１）よりも具体例を豊富に織り混ぜ、２回のディベートを通して成長を実感することができました。

ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえ、エアークラッシュを交わしました。



ジェスチャーも交えてスピーチ



ディベート後のエアークラッシュ

最後に、実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「自分がどのような点でまだまだ成長できるのか知ることができた。また頑張りたい。」「人前で話すことが苦手だったが、今日の経験を通して今後もどんどんチャレンジしたいと思うことができた。」と、本日の感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・凄く緊張したが、終わったあとの達成感がすごく楽しかった。緊張したけれどたくさんの気づきがあって凄く勉強になった。
- ・必死でスピーチをするのが初めてだったので、貴重でした。コメントも丁寧でモチベーションが上がりました。とても面白かったです！またやってみたいと思いました。
- ・英語のディベートを初めてして、最初はドキドキしていたけど自分でできるベストを尽くせたのかなと思いました。
- ・自分のスピーチに評価して下さったので、改善点を見つけられてよかったです。
- ・今日からたくさんのお話を学ばせていただきました。今日学んだことを明日からいろいろなことに活かしていきたいと思っています。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年4月21日(木) 13:55~15:55

場所：オンライン (Zoom)

参加者：生徒38名、教員3名、

スタッフ：PDAスタッフ、国際基督教大学、京都大学、PDA認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートに初挑戦の中学3年生達です。事前にディベートルール紹介動画を視聴し、ディベートの流れを予習して参加してくれました。実践前に、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI (Point of Information) の練習を全員で行い、ジャッジの仕方を確認したら、いよいよ第一ラウンドの論題発表です。



POI の練習

実践①の様子

15分間の準備時間の中で、肯定/否定チームはそれぞれにチームメイトと相談しながら、アイデアを出し合います。「1つしかポイントが浮かばない時は、どうしたら良いですか?」と、積極的にジャッジ講師に質問をする姿勢も見られました。生徒ジャッジチームも、肯定/否定チームがどのようなポイントを提示してくるかを予想し、単語チェックも行い準備を行いました。実際のラウンドでは、緊張しながらも果敢に英語で笑いを狙ったチームや、また、初めてとは思えないほど深い分析や効果的な反論スピーチもあり、岡山学芸館清秀中学生たちの柔軟な思考力やアイデアの豊かさに高い可能性を感じました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、勝敗と勝敗理由にくわえて、スピーカー1人1人に個人コメント(良かった点と改善点)が述べられます。自分以外のスピーカーへのジャッジコメントにもうなずき、真剣な表情で聞く姿が多く見られました。

実践②の様子

休憩をはさみ、実践 2 では、先ほどジャッジから受けたアドバイスを早速いかして、自分たちの主張を支える理由に加えて、分かりやすい具体例が肯定・否定の両チームから述べられ、白熱したラウンドとなりました。また、実践中もチーム内でアイデアを共有しあうなど、チームワークの良さもとても目立ちました。



ラウンド中の様子

ラウンド後はお互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラップです。実践②でベストディベーターに選ばれた生徒から「英語で何と云えば良いのか、思ったようには言葉が出てこなくて難しかったけれど、チームメイトの助けを借りて必死にスピーチしました。ちゃんと反論になっていたと（ジャッジから）聞いて安心しました。良かったです。」と感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 即興で発表した部分もあったので、結構大変だったけど、楽しかった。またやりたいと思った。
- 自分の意見を英語でいう機会は初めてだったので、難しかったけど、楽しかった。
- 一回目は分からないことが多かったけど、二回目はとても楽しめた。
- 違う意見を聞いたので、とてもよかった。授業でもやってみたい。
- 単語が知れてよかった。
- 英語が苦手でしたが、チーム内の話し合いが楽しかった。チームメイトによく助けられました。
- いろんな人の意見が聞けて、楽しかった。こういう経験ができてよかった。
- 分からないところも、みんなで協力しながらできて楽しかった。
- 英語をたくさんしゃべることができて、楽しかった。
- 他の論題（動物について、テストをなくすことの是非、オタク文化について等）でも考えてみたい。



PDA 星城中学校即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年4月22日（金）16：00～18：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒20名、見学生徒5名、教員1名、

スタッフ：PDAスタッフ、東京外国語大学、PDA認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートに初挑戦の中学2年生と3年生が、学年ミックスチームを4チーム作り参加しました。ディベートルール紹介動画を事前に視聴し、手元にはスピーチシートを用意して体験会が始まりました。ルールの確認を全員で行い、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習も元気よく行い、いよいよ第一ラウンドの論題発表です。



POI の練習

実践①の様子

論題を素早くノートにメモをとり、15分間の準備時間に、肯定/否定チームはそれぞれのチームメイトと相談しながらアイデアを出し合います。チーム内で頭をつき合わせて一生懸命に自分たちの意見やアイデアを出し合う熱気が、画面越しにも伝わってきます。実際のラウンドでは、用意した自分たちの考えや即興での反論を精一杯伝えることができました。緊張感のなかにも、教室は安心して挑戦できる「安全な学びの場」という共通認識が生徒にある様子で、アイコンタクトや声の大きさ、話すスピードも素晴らしく、ジャッジや相手チームに伝えようという意識の高さも感じられました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、勝敗と勝敗理由にくわえて、スピーカー1人1人に個人コメント（良かった点と改善点）が述べられます。ジャッジの画面前に生徒自らが集まり、集中して真剣な表情でアドバイスを聞く姿が多く見られました。

実践②の様子

休憩をはさみ、実践 2 では、先ほどジャッジから受けたアドバイスを早速いかしていきます。相手チームの議論にかみ合った反論、再反論、さらなる応答を即興で行うなど、とても白熱したラウンドになりました。また、3年生が2年生のサポートを丁寧にしており、学年を超えたチームワークの良さ、和気あいあいとした積極的な学びの雰囲気の中、英語で自分の考えを、相手に精一杯伝え合うことができました。



実践ラウンド後のエアークラッシュ

ラウンド後はお互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラッシュです。実践②でベストディベーターに選ばれた生徒からは、「今日の即興型英語ディベートによって、自分自身の英語力が上がったように感じます。これからの学びに繋がるアドバイスももらえて良かったです。」「とても楽しかった。これからも即興型英語ディベートを続けてやってみたいと思います。」と日本語と英語で感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 英語会話の核心に触れられた気がして、とても楽しかった。ディベート後に丁寧なアドバイスがあり、改善すべき点を把握できました。授業でもぜひ行いたいです。
- 英検を持っていても、英語がすぐに出てくるわけではなかったのが、即興で応答することができて良かったです。次は、スピーチの流れをつかんでメモ程度を見ながら英語スピーチを試みたいです。授業でもぜひ行いたいです。
- 新しい単語を知ることができ、先輩の助けをかりて、自分の伝えたいことを英語で言えて楽しかったです。
- 英語がなかなか出てこなくて焦ってしまい難しかったです。でも、ジャッジの方もサポートしてくださり、安心してスピーチすることができました。すごく緊張しましたが、楽しかったです。授業でも行いたいです。
- 毎日いろいろなことを考えたり、もっと単語を覚えたいと改めて思いました。とても貴重な経験をするのができてありがたいです。
- 英語の上達のためにやるべきことがわかったような気がしました。
- まだまだ全然話せないけれど、楽しかった。これからも英語でがんばります。
- 私は人前で話すことが苦手で、英語を話すのは無理だと思っていましたが、今日ディベートをやってみて、少しは苦手意識をなくせたかなと思いました。
- 年下の子が自分より英語ができていて、「これが井の中の蛙って言うんだな」と実感させられました。あと、ジャッジの人がうなずいてくれたり、優しく改善点をおしえてくれたので、これからの英語学習にいかせると思いました。とても楽しかったです。
- 皆で意見を考えるのは楽しかったけど、短い時間で意見をまとめるのは難しかった。自分の英語力が間に合っていないと感じたのでもっと勉強してからまたやってみたいと思いました。
- 考えれば考えるほど楽しくなっていました。
- 日常的なトピックだったので、自分の生活を関連させて考えることができました。ディベートのやり方を知ることができてうれしかったです。大変だったけど、仲間と意見を話し合ったり協力できたのが良かったです。



PDA 姫路市立琴丘高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年4月27日（水）13：15～15：15

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒39名、教員3名、

スタッフ：PDAスタッフ、一橋大学、大阪大学、京都大学、PDA認定教育ジャッジ

肯定チーム、否定チーム、ジャッジチームを各4チームつくり、4テーブルに分かれて体験会を行いました。ディベートルールとジャッジの仕方を確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を全員で行った後は、いよいよ実践です。

実践①の様子

準備時間は15分間です。肯定/否定チームはそれぞれのチームメイトと相談しながらアイデアを出し合い、ジャッジチームは単語シートの語彙確認や、肯定/否定チームの争点になりそうなポイントを予想します。「まだ準備が終わってない」と緊張しながらも、きれいな英語の発音で自分たちのポイントを述べ、また反論の場面では、チームメイトと協力して反論アイデアを書いたメモをスピーカーに手渡す姿も見られました。



自分たちの意見を相手チームとジャッジに伝えます

ラウンド後のエアー握手

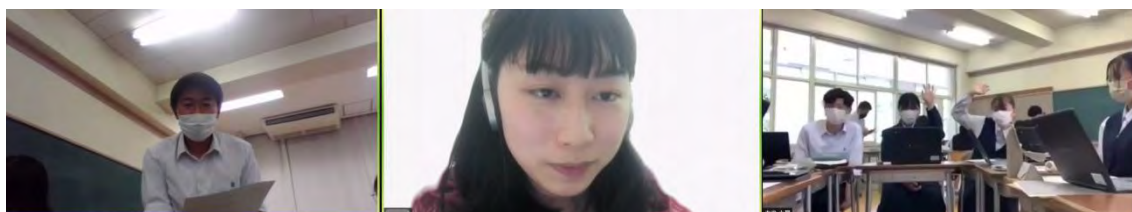


ジャッジコメント

ラウンド後には、PDAのジャッジから、勝敗と勝敗理由にくわえて、生徒1人1人に個人コメント（良かった点と改善点）が述べられます。難しいけれど、面白い！もう一度チャレンジしてみたい！ジャッジコメント中に、生徒の表情がみるみる変わっていきます。

実践②の様子

休憩をはさんだ実践 2 では、自分たちのポイントだけでなく、相手チームのポイントを予想して、反論アイデアを前もって準備時間中に考えるなど、実践 1 でジャッジから受けたアドバイスを生徒たちは早速いかしていきます。相手チームの主張を聞きながら、同時に反論アイデアをチーム内で共有したり、自分たちの主張を強く支える理由や具体例が反論や再反論にも加わり、議論が深まってきました。また、ジャッジの方をしっかりと見てスピーチを行うなど、アイコンタクトやジェスチャーも良く、表現力も増しています。



アイコンタクトも抜群

ジャッジチームによる投票の様子

ラウンド後はお互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラッシュをします。実践 2 でベストディベーターに選ばれた生徒たちからは、「即興で反論を行うという経験が初めてで難しかったが、練習を重ねて、いつか冷静に反論できるようになりたい」、「自分の考えを伝える力、英語にする即興力、思考力、相手の話をしっかりと聞く力、共感力などがとても身につくと感じた。授業でもぜひやってみたい。」、「日本語でも英語でもやってみたい」、「将来、会議などでも役に立つ力がつきそう」などの感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 即興で相手の意見への反論を考えて、自分の意見を伝えるのが難しかったけどワクワクして、とても楽しかった。またやってみたいです。
- チーム対抗で仲間との絆も深まった気がして、とても楽しかった。また、自分の語彙の少なさを再認識できました。次の機会があれば、単語がすぐに出てくるようにしたいです。授業でもぜひ即興型英語ディベートを行いたいです。
- 即興で考え、意見を簡潔にまとめ、相手の話を聞く、いろんな動作が組み合わせられていてとても難しかったです。「即興型英語ディベート」を大学入試の面接や英作文などに活かしたいです。とても楽しかったです！
- 今まであまり人に自分の意見を言ってこなかったけど、自分の意見を人に伝えるのがすごく楽しいことだと気づく機会になりました。
- 英語で話して、聞いて、意見を述べることはとても難しいことだけど、自分の考えが相手に通じた時に、とても楽しいと感じました。また練習会や交流会に参加したい。
- 初めての経験でとても難しかったです。反論したり、主張したりするのが予想以上に面白かったです。即興で英語を話すことにも、2回戦目は少し慣れて楽しむことができました。授業でもやってみたいです。
- やる前はもっと自分は即興でも反論したり意見を伝えたりできると思っていたけど、実践してみると全然できなくて悔しかったです。でもその気持が英語を勉強するモチベーションになりそうです。とても楽しかったです。
- 普段あまり喋らない人と同じチームになって緊張していましたが、ディベートをやっているうちに仲良くなれてとても良かったです。あまり上手には出来ませんでしたがチームメイトと即興で反論理由を考えたりするのがとても楽しかったです！
- ジャッジの先生が、私の英語でもしっかりと意見を汲み取って聞いて、褒めてくださり、アドバイスもしてくださり、本当に嬉しかったです。
- まとめのリプライスピーチをしたのですが、人の話した内容をまとめるのは自分の意見を言うよりも難しいことが分かりました。自分の意見を英語で伝えられた時に楽しいと思いました。
- じっと座って話を聞くだけでなく、積極的に自分の意見を述べることができ楽しかったです。アドリブ力も鍛えたいです。
- 普段一つのことを深く考えて周りとは英語で意見を出し合うという機会がなく、とても刺激的で楽しかった。



PDA 静岡県立静岡高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年4月27日(水) 15:40-17:40

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒8名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに PDA スタッフが、4人チームの場合の役割分担に関する説明や、POI(Point of Information)の練習を行いました。昨年の体験会にも参加した生徒に「POI はどのようなときにしますか？」と質問をすると、「相手のスピーチ中に疑問に思うことがあったり、ここおかしいなって思ったりしたときに質問します。」と完璧に回答することができました。



POI の練習

実践(1)の様子

開始前の自己紹介では「即興型英語ディベートをするのは今日が初めてです。」と述べ、緊張している様子でしたが、準備時間が始まると、すぐ準備を行うテーブルに移り、チームメイトと協力してポイントを考えていきました。ディベートでは、POIも活発に行われました。POIで質問をするだけでなく、受けて返答し、議論を深める様子が見られました。



スピーチ中の POI !



相手スピーチにも即座に返答します

実践(2)の様子

実践(2)は肯定側と否定側を入れ替えて実施しました。スピーチの中に相手の反論を予想した分析を組み込んだり、具体例を用いて描写したりなど、実践(1)でジャッジから伝えられた改善点を即座に活かしたスピーチも多く見られ、互いに切磋琢磨する様子が見られました。



ジェスチャーを交えてスピーチ



ディベート後のエアークラップ

最後に、2ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「1ラウンド目では先輩に教えてもらいながら取り組むことができた。英語が苦手でもできるんだと自信につながった。」
「改善点が見つかり、いい機会となった。この調子で交流大会も頑張りたい。」と感想を述べました。



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・とても楽しかった。
- ・改善点が多く見つかったのでよかった。
- ・英語を話した経験があまりなくても分かりやすく改善点を教えていただけたら、組み立て方が分かりやすかったので未経験の私も参加しやすかったです。
- ・まだまだ自分の英語力が、足りないことを実感できたので、もっと鍛えたいと思う。
- ・自分は上手く出来なかったけど先輩が沢山サポートしてくださって、自分の考えを組み立てていく楽しさを体験できました。
- ・相手が何をいってくるのかを考えるのと、しっかり説明していくのが難しいですけど楽しかったです。
- ・思っていたより和気あいあいとしていて楽しかった。



PDA 立命館高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年4月28日（木）10：40～12：20

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒36名（欠席2名）、教員1名、

スタッフ：PDAスタッフ、国際基督教大学、東京大学、PDA認定教育ジャッジ

肯定/否定/ジャッジチームを各4チームづくり、4テーブルに分かれて体験会を行いました。各スピーカーの役割とジャッジの仕方を確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を全員で行った後は、いよいよ実践です。



実践①の様子

準備時間は論題発表後の15分間です。肯定/否定チームは仲間とアイデアを出し合います。ジャッジチームは肯定/否定チームが出してきそうなポイントを予想します。例えば、論題に関連するアクターをリストアップしたり、論題のある世界とない世界の比較を具体的に考える時間としました。ラウンドが始まると、自分たちが守りたいアクターを描写力高く英語で説明したり、反論の場面で理由に加えて、具体例まで飛び出すなど、初めての即興型英語ディベートとは思えないスピーチが両チームから飛び交いました。



しっかり聞き、精一杯スピーチ

ラウンド後のエアークラッシュ

ラウンド後は、お互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラッシュをします。その後、PDA のジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗理由 (3) 個人コメントとして、生徒 1 人 1 人に良かった点と改善点が述べられます。

実践②の様子

実践 2 では、自分たちがいかに相手チームよりも重要な話をしているか、という点をジャッジにアピールする姿勢も見られました。重要な点をパラフレーズして繰り返したり、分かりやすい語彙や、聞き手の心を惹きつけるジェスチャーつきで行います。立論も反論も、具体例まで分かりやすく伝えようと一生懸命です。スピーチ時間も、実践①よりも長くなり、より説得力の増したスピーチが全てのテーブルで見られました。



アイコンタクトも大事

連続 2 ラウンドお疲れさまでした！エアークラッシュ

体験会後のアンケートでは、8 月 5-6 日にオンライン開催予定の PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2022 にも、参加してみたいという声や、即興型英語ディベートの練習を続けたいという声がありました。全国各地の高校生たちと、画面越しにはありませんが、同年代の仲間たちの頑張りをよい刺激にして、お互いに切磋琢磨できる練習会や交流大会で、知力も体力もある立命館高校の皆さんと一緒できる機会を楽しみにしています。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 考えながら英語を話すのは練習が必要だと思うので、今回できてよかったです。即興型英語ディベートを授業でも行いたいです。
- 即興で議論について考え、英語で話すのがとても楽しかったです。PDA 高校生夏合宿にも参加したいです。
- 具体的なアドバイスを一人一人に丁寧にもらえるのが初めてで嬉しかったし、ためになりました。単純な英語力というよりは、ディベートとしての文章構築が必要だと実感しました。また、それがおもしろいと思いました。ディベートで必要とされる力は日常で自分な意見を相手に伝える時にも必要な力だと気付きました。相手を納得させる反論がとても難しかったです。
- 今までのディベートと違って事前準備がなかったですが、事前準備がなくてもしっかりとできたことに驚いています。また、PDA の方から個人個人にアドバイスもらえたので、より良いディベートが今後できるなって思いました。
- 少し難しかった。相手が何を言ってくるかも分からなかったから、即興で反論を考えるのが大変だった。でもその状況だからこそ実力も伸びるんだろうなと思った。
- みんなの意見や考えに触れられて面白く、とても楽しかったです。自分の実力を試すことができ、的確なアドバイスももらえて、とても良い経験になりました。
- 初めての体験で緊張したけど楽しむことができました。もっともっと改善できるところがあるなと思ったので自分の英語力をもっと上げたいと思いました。
- 英語が苦手で、さらに即興型ということで心配でしたが、楽しむことができました。ディベートが成立するよう、がんばれました！
- 単語がとっさに分からなくても、自分の知っている語彙を使って言い換えることができて楽しかったです。



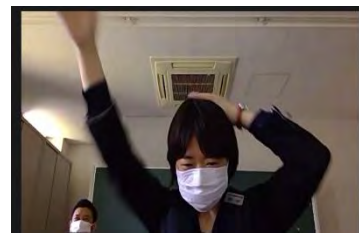
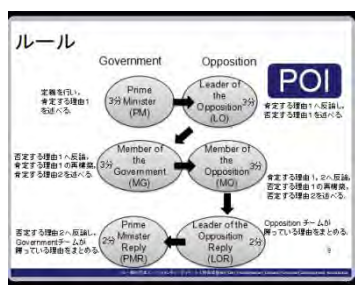
開催日時：2022年4月30日（土）13：30～15：30

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒3名、教員1名

スタッフ：PDA スタッフ、東京外国語大学

即興型英語ディベートに初挑戦の中学3年生と高校1年生が、先生を交えて体験を行いました。事前にディベートルール紹介動画を視聴し、手元にはスピーチシートを用意して体験会が始まりました。ルールの確認を全員で行った後、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習も元気よく行い、いよいよ第一ラウンドの論題発表です。



POIの説明と練習

実践①の様子 論題：Homework should be abolished. (宿題は廃止すべきだ)

論題を素早くノートにメモをとり、15分間の準備時間に、肯定/否定チームはそれぞれのチームメイトと相談しながらアイデアを出し合います。チーム内で頭をつき合わせて一生懸命に自分たちの意見やアイデアを出し合う様子が、画面越しにも伝わってきました。実際のラウンドでは、初めての経験ながら、用意した考えや即興での反論を精一杯伝えることができました。スピーカーが意見に詰まっても、チームメイトがうまく助けを出し、最後まで相手やジャッジに伝わるディベートを心掛けていました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、勝敗と勝敗理由にくわえて、一人一人に個人コメント（良かった点と改善点）が述べられます。真剣な表情でメモを取りながら、ジャッジのアドバイスを聞く姿が見られました。

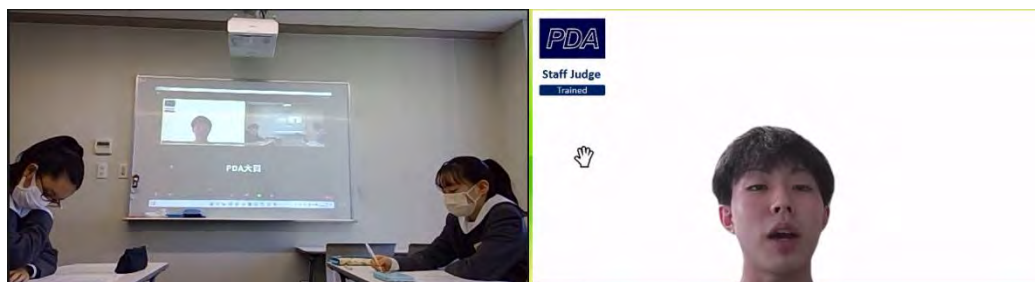
実践②の様子 論題：High school students should have part-time jobs.（高校生はアルバイトをすべきである）

休憩をはさみ、実践②では、先ほどジャッジから受けたアドバイスを早速いかしていきます。主張に対する理由付けや例示が明確になった他、相手の意見に対して鋭く反論をする場面も増えました。また、POI を実際にラウンドで使用した生徒もおり、とても白熱したラウンドになりました。

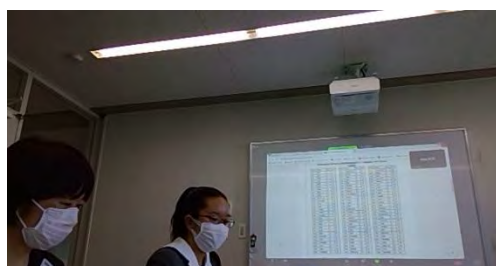


実践②の様子

ラウンド後はお互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトと握手です。実践②でのジャッジの講評のあとにも、積極的に質問をし、技術を高めようとしていました。また、ベストディベーターに選出された生徒からは、「論理構成を考えながら話すことは難しかったが、初めての経験で楽しみながらディベートができた」との感想が出てきていました。



ジャッジの講評をメモを取りながら聞く生徒



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ジャッジが丁寧でありがたかった。環境問題などこれからの社会に必要な論題を考えるよい機会となった。
- ・ただ英語の勉強をするだけでなく、発表をする練習にもなって良かった。
- ・15分という短い時間で文章を組み立てたり、単語を捻り出したりしたら難しかったけど、英語で表現するのは楽しかった。
- ・現時点の私の英語力がどれくらいかよく分かって良かったです！ありがとうございました。



PDA 三重県立四日市高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年5月6日（金）16:00-18:00

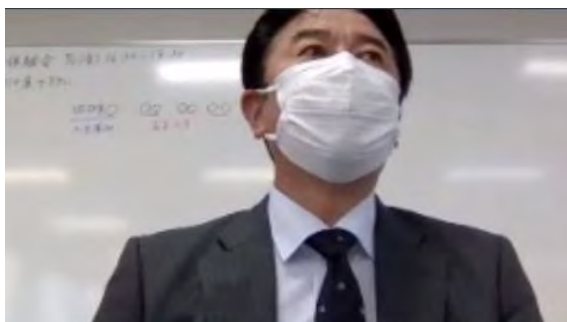
会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒26名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、横浜国立大学、東京外国語大学、九州大学

はじめに四日市高校諸岡伸校長先生より、英語でご挨拶いただきました。「これから皆さんはグローバル社会で重要な役割を担っていくことでしょう。今日はそのためにたくさんのことを学ぶ機会にしてください。緊張している人も多いと思いますが、新たな挑戦だと思って頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。

次に、PDAスタッフが、役割分担に関する説明や、POI(Point of Information)の練習を行いました。



諸岡校長先生によるご挨拶



POI の練習

実践（１）の様子

実践（１）は、POIの飛び交うディベートとなりました。気になる点にはすかさずPOIを行い、質疑応答を通して、お互いの主張を確認し、反論や再構築に活かす様子が見られました。また、自身の中学生の時のエピソードを具体例として説明したり、友人の例を出しながら説明したり、とても魅力的なスピーチで奮闘するディベートとなりました。



POIで質疑応答に挑戦！



四日市高校卒業生の講師によるフィードバック

実践（２）の様子

実践（１）でジャッジから受けたフィードバックや個人コメントを活かそうと臨んだ実践（２）。「たとえばどのような人が論題によって困るのかを分析する」「反論にも理由を交えて説明する」などのコメントを早速スピーチに反映しました。



スピーチ中のPOI！

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「チームメイトと協力して取り組むのが楽しかった。」「普段は読み書きが中心なので、もっと勉強を頑張ってディベートできるようになりたい。」と感想を述べました。そして、四日市高校の卒業生でもある講師より、在校生へ激励のメッセージが送られました。



本日の感想

卒業生からのメッセージ

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・もっと話せるようになれるように今日の経験を活かしてがんばりたいです。
- ・いい経験になった。自分の英語力が全然ないことを実感できたのでこれから頑張りたい。
- ・1番は悔しかった。焦るほど英語は出てこないし、自分基準で考えてしまって上手く定義が使えなかった。でもそれは伸びしろがあるということだから頑張っていきたい。なにより達成感でいっぱい。友達どうしてもやってみたい。
- ・楽しかった！！とにかく楽しかった！初めて話す人とも同じチームだったけれど、すぐに連携がとれて本当に自分たちの力を、知識を、英語を通して深められたと思った。
- ・緊張して言葉が出てこないことや、使いたい日本語を英語に訳せないことがあり、語彙力の大切さを学べたので、これを機に単語の勉強を主に頑張っていきたいと思います。
- ・普段は読み書きしかしないから全てのことを英語で行うという貴重な体験ができて嬉しかったです。まだまだ英語力が足りないことを痛感しました。チームで一番話せなくて汗が吹き出したけれど、チームの子たちが沢山助けてくれてなんとか出来ました。2回目は1回目より貢献できたことがとても嬉しかったです。
- ・始まる前は、英語でうまく話せるかということがとても不安だったけれど、英語ディベートでは、英語で話すだけでなく、議題の分析や、主張の仕方の工夫など、考えることがたくさんあると分かり、驚きました。難しく感じた場面も多かったけれど、楽しかったです。
- ・言いたい事を英語で言うのは難しかったです、なんとか伝わったみたいだったので良かったです。相手の言っていることを聞きながら反論できる所を見つける事は大変だったけど、なんとか反論でき、面白かったです。英語を聞き、話し、と難しかったです、英語のスキルは少しずつ上達しているという実感があったので嬉しかったです。



PDA 徳島県立徳島北高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年5月7日（土）09:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒10名

ジャッジ：PDAスタッフ

はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。「即興型の英語ディベートをするのは初めて」という中、片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズをしながら、元気よく「POI!」とすることができました。



POIの練習

実践（1）の様子

準備時間が半分過ぎた頃には、各チームとも立論として話すポイントを2つ決め、それぞれのポイントを深めて行きました。ディベートでは、論題のキーワードの特徴をよく分析し、説得的なスピーチを披露しました。



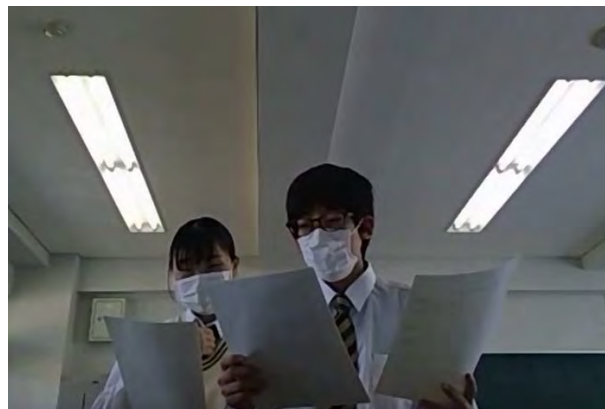
アイコンタクトも意識したスピーチ



ディベート後のエアー握手

実践（２）の様子

実践（２）は肯定側と否定側を入れ替えて実施しました。実際に一度ディベートをやってみて、「準備時間にこういうことを考えよう！」と戦略を練る様子も見られました。実践（１）よりも具体例などの描写が豊富になり、甲乙つけがたいディベートとなりました。



相手のスピーチを聞いて即座に反論！

最後に、本日のディベートでベストディベーターに選ばれた生徒が「難しい場面もあったが、チームメイトと協力して取り組むことができ、とても楽しかった。」「自分の意見とは異なる意見を聞くことができとても刺激的だった。効果的な再構築などを即座に考えるのは難しいと感じたが、それができるようになればもっといいディベートになるのだろうと感じた。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 同じチームの友達達と意見を考えてそれを英語で考え直すのもとても楽しかった。する前は少し緊張していたけど、してみるととても楽しくてまたやりたいと思った。
- 相手の意見を聞きながら反論を考えるのが難しかったけど、様々な人の意見が聞けて面白かったです。
- 自分が言いたいことを英語で話し相手が言ったことをすぐに聞き反論を考えることは普段しないのですごく難しかったけどチームで1つになって協力できてよかったです。
- ディベートのおもしろさや難しさを体験することができて、すごく楽しかった。即興型ディベートを忠実にしたのは初めてだったので、難しかったけど、良い経験になりました。他のディベートの行事にも参加してみたいです。



PDA 一ツ葉高等学校立川キャンパス即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

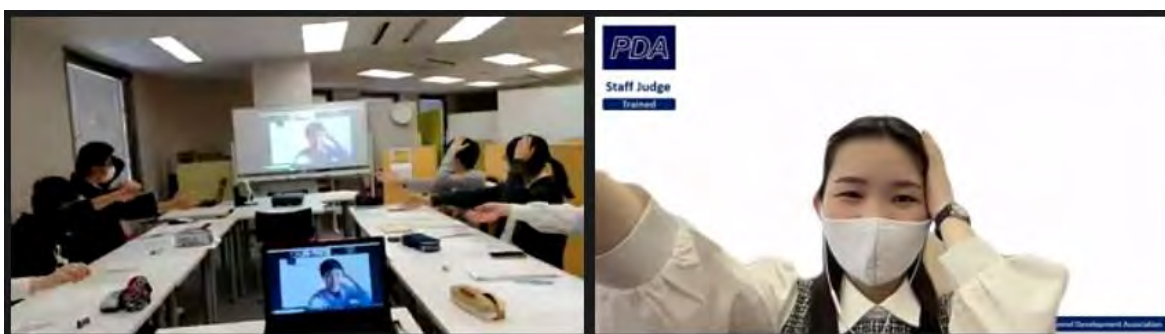
開催日時：2022年5月10日（火）15：45～17：45

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒11名、教員4名、

スタッフ：東京外国語大学、PDA認定教育ジャッジ

3人1チームとして4チームを作り、2テーブルに分かれて体験会を行いました。各スピーカーの役割を確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を全員で行い、緊張を少しほぐしたら、いよいよ実践です。



実践前に全員でPOI練習

実践①の様子

準備時間は論題発表後の15分間です。肯定/否定チームは仲間とアイデアを出し合います。2人チームには、先生がサマリー役で飛び入り参加していただき、生徒たちの学びをサポートしていただきました。緊張いっぱいの中、論題を肯定する世界ではどんなメリットが生まれるのか、また否定する世界ではどんなデメリットが生じるのかを、英語で一生懸命スピーチする姿が両テーブルで見られました。また、POIも早速飛び交う活発な実践となりました。



15分間の準備時間はあっという間

ラウンド後のエアークラップ

ラウンド後は、お互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラッシュをします。その後、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗理由 (3) 個人コメントとして、生徒1人1人に良かった点と次の実践にすぐにかける改善点が述べられます。

実践②の様子

数分の休憩をはさんで、実践②です。実践①よりも、アイデアを活発に出し合う声が画面越しに聞こえてきます。実践①でジャッジから受けたアドバイスをいかし、具体例を追加する生徒や、論題が与える影響について、長期的な視点でのメリットやデメリットまで話す生徒、また相手のスピーチを聞き逃すまいと POI が出たり、自分のスピーチが終わった後も、仲間のために反論アイデアを一緒に考える姿が印象的でした。



2ラウンドお疲れさまでした！エアークラッシュ

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒から「すごく緊張したけれど、楽しかった！」、「1回目は緊張しすぎて全然話せなかったけれど、2回目はアドバイスをいかしてがんばることができて良かった」と達成感いっぱいの笑顔で、感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 普段あまりやらない活動で、難しかったけど自分の意見をしっかり言えると、すごく達成感みたいなものがあってよかったです。とても楽しかったです。
- 英語で話し合いなんて絶対にできないと思っていたが、チームがいて色々助けてくれたり、他の人ならでは意見が聞けたので楽しかった。緊張したが、自分の言いたいことを表現できた。
- 英語を実用的に使う機会があまりないので、ぐちゃぐちゃではありましたが、最後の方は楽しく出来ました。すごくいい経験になってとても感謝しています。ディベートは難しかったですが、同じくらい楽しかったです。
- 緊張しましたが、すごく参考になりました。アドバイスも有り難かったです。即興型英語ディベートを授業でも行ってみたいです。
- 自分が意外と喋ることができて、みんなとの議論の中に入ることができたのが良かったです。
- 日本語なら堂々と発表できるのになと思っていたが、簡単な英語でも伝える、伝わることが体験できて嬉しかった。
- 今までやったことのない事だったので、事前にルール説明動画（YouTube）を見てから挑んだのですが、レベルが高すぎて、すごく緊張しましたが、楽しかったです。



PDA 岐阜県立岐阜高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年5月13日（金）16:00-18:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒9名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに PDA スタッフより、役割分担に関する説明や、POI(Point of Information)の練習を行いました。POI は議論を深めるために導入されているルールで、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができます。今回は、その POI のポーズの練習を行いました。



POI の練習

実践（1）の様子

実践（1）は、論題のキーワードの特徴を分析したり、関係する登場人物を場合わけして説明したり、両チームとも説得力のあるスピーチを披露しました。ディベート後はお互いの検討をたたえてエアークラップを交わしました。



ジャッジへのアイコンタクトをしながらスピーチ



エアー握手

実践（２）の様子

具体例を提示する、“As a result, ……”と具体的にどんなメリット・デメリットにつながるのか帰結を話す、など、実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かそうと臨んだ実践（２）。ジャッジコメントで受けた「良かった点」を伸ばしつつ、「改善点」を活かす様子が見られました。他の生徒に向けられたコメントも「自分に取り入れることはできないか」と考え、スピーチを活かす姿も見られ、飛躍的な成長が見られたディベートとなりました。



即座に前のスピーカーへ反論

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「チームメイトと相談して考えてディベートするのはとても楽しかった。」「前のスピーカーに即座に対応しないといけなかったり、とても奥が深いと感じた。これからも頑張りたい。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今後改善できそうなところが、沢山あったので、今後の練習に活かしていきたいです。
- ・より論理的に思考するスキルを高めたい。
- ・相手の意見を尊重しつつ、自分の意見を考えてディベートするのがとても難しかったけど楽しかったです！英語力をもっとつけてもっと言いたいことを言えるようになりたいです。
- ・言いたいことを言えない悔しさを感じたので、もっと自分を鍛えたいと思った。
- ・与えられたテーマを解釈し、論展開を考えることが難しかった。また、考えた意見を即座に英語に変換して話すということが難しかった。
- ・ジャッジしていただくのが初めてで勝敗が決まるからこそその緊張があり、貴重な体験ができて嬉しかったです。
- ・おもしろいと思ったので、もっと力をつけてカッコいいディベートをしたい。



PDA 愛知県立岡崎高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年5月22日（日）10:00-12:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒16名、教員1名

ジャッジ：PDAスタッフ、慶應義塾大学、東京大学

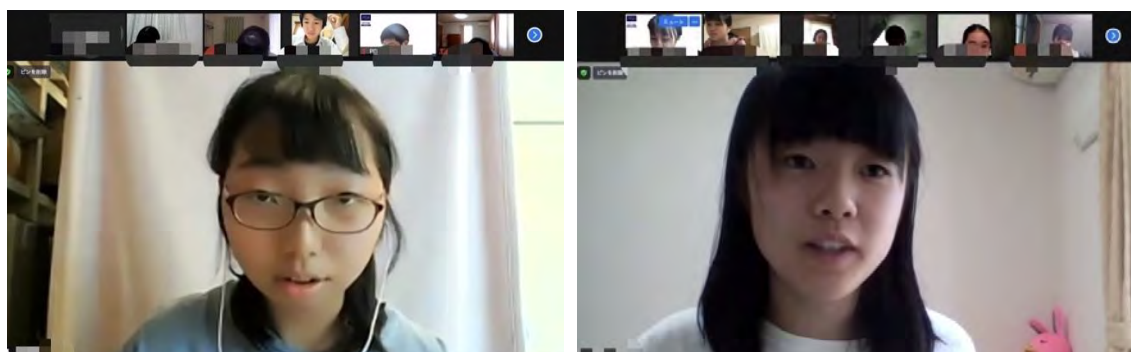
はじめにPDAスタッフより、役割分担に関する説明や、POI(Point of Information)の練習を行いました。ミュートを解除し、「POI!」と言いながら、片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズをすることができました。



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）は、現状と論題が実施された後の比較をしたり、POIで質疑応答にチャレンジしたりと奮闘しました。また、岡崎高校の卒業生がスタッフとして参加しており、先輩からのフィードバックから多くのことを吸収しようと真剣にメモをとる場面もありました。



ジャッジへのアイコンタクトを意識しながらスピーチ



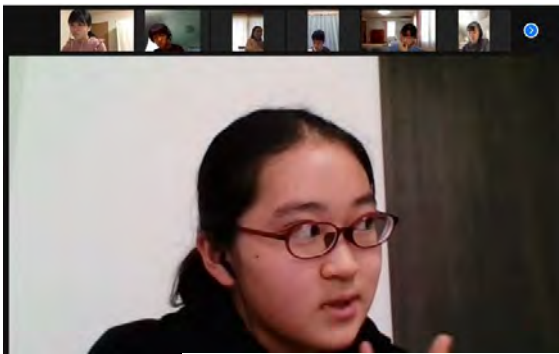
ディベート後のエアークラッシュ



岡崎高校卒業生のスタッフからコメント

実践（２）の様子

休憩を挟み、早速実践（２）の開始です。論題の中にあるいくつかのキーワードについて、準備時間に分析を深めていきました。ディベートでは、論題の中にあるキーワードである「高校生」だけでなく、他の関連した人物、例えば教員や親などに着目したり、具体例として友人の例を詳しく説明したりしました。

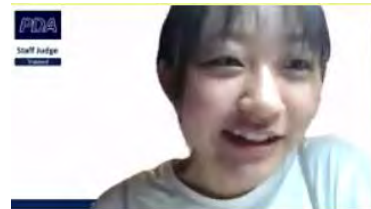
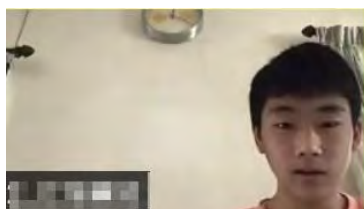


相手のスピーチをよく聞いて再構築やまとめを行います

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「まとめの役割をしたが、色々な学びを得ることができた。」「ディベートをやりっぱなしではなく、ジャッジからフィードバックをもらえるのがとても良いと思った。」と感想を述べました。そして、最後に岡崎高校の卒業生であるスタッフより、後輩へ激励のメッセージがおくられました。



本日の感想



先輩からのメッセージ

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 個々にアドバイスをもらえて次に繋がる練習会になったと思います。
- 1つのテーマに対して色々な観点からの意見を出し合う事ができたことが良かったです。
- とても楽しかったです。またやりたいです。
- ディベートの楽しさに気づくことができました。いろいろな人の考えを聞くことで、論題についての理解を深めることができたので、今後の生活にも活かしていきたいです。ジャッジの方のフィードバックで、ディベートで大切なことなどを学ぶことができ、とてもためになりました。今後もディベートを通して、英語力や論理的に話す能力など、沢山学んでいきたいです。
- 高校生という身近な話題で、正式な形でやったのが初めてだったので、楽しかったです。
- 1人1人にフィードバックしてくださり、貴重な経験になりました。ありがとうございました！
- 相手の意見を聞いたり自分の意見を少しの時間でまとめて話したりするのは難しかったです。ジャッジの方に頂いたアドバイスをもとに少しずつ英語で意見を話せるように部活でも積極的に意見を言ったり反論したりしていきたいです。
- チーム内で補ってくれたり頷いて聞いてくれていたりすると、即興ディベートに慣れていない中でもなんとか自分の役割をこなせ、自分にもできそうだと少し思えるようになりました。楽しかったです！



PDA 都立田柄高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

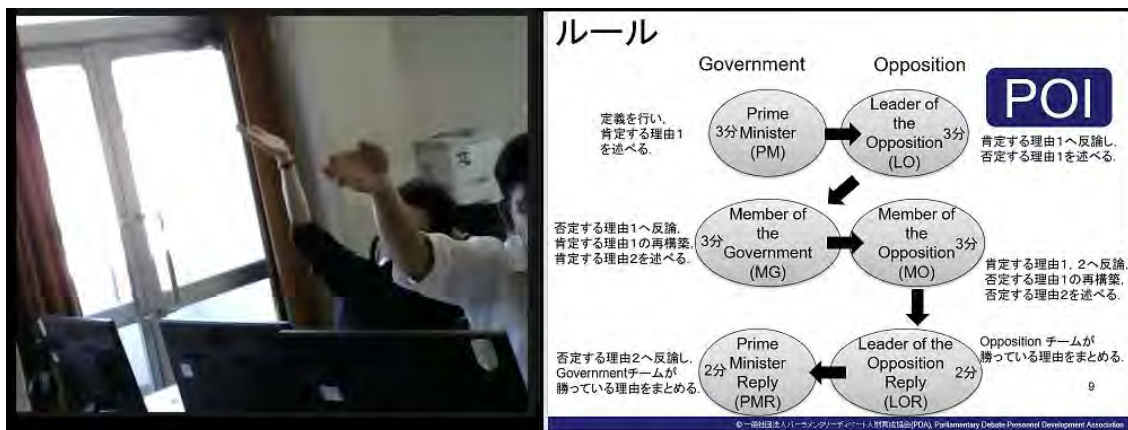
開催日時：2022年5月24日(火) 14:00~16:00

場所：オンライン (Zoom)

参加者：生徒6名、教員1名、(教員の見学2名)

スタッフ：PDA 認定教育ジャッジ

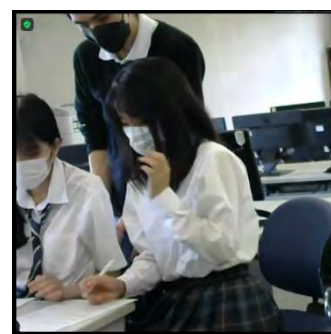
参加者の半数以上が即興型英語ディベートをするのは初めてということで、各スピーカーの役割を全員で確認しました。相手チームのスピーチ中に、疑問点や確認したい点を質問できる即興型英語ディベート特有のルール『POI (Point of Information)』の練習を正式なポーズ付きで行うと、思わず笑顔がこぼれます。ディベートのルールを確認したら、いよいよ実践です。



実践前に POI 練習

実践①の様子

準備時間は論題発表後の 15 分間です。各チームに分かれて、仲間とアイデアを出し合います。どの生徒も自分のスピーチの持ち時間を余すことなく使いました。流暢な英語で論題を肯定/否定する理由、具体例を話し、さらにはタイマーを見ながら、即興で具体例を追加する等、早速活発に議論が交わされました。反論でも即興で理由をつけて述べるなど、初めての実践とは思えない活発なラウンドとなりました。



15 分間の準備時間

ラウンド後は、お互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアー握手をします。その後、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 個人コメントとして、生徒 1 人 1 人に良かった点と次の実践にすぐにかせる改善点がフィードバックされます。

実践②の様子

数分の休憩をはさんで、すぐに実践②の論題発表です。生徒たちにとって身近な論題であったため、身近な具体例が両サイドから次々に描写されます。実践①でジャッジから受けたアドバイスも早速いかし、さらに聞き手に伝わりやすいスピーチ構成で主張や理由、具体例や反論、さらなる再反論などが話されて、ぐっと議論が深まります。最後のまとめリプライスピーチでは、いかに自分たちのチームの方が相手チームの議論よりも勝っているかについて、その優位な差を、第三者であるジャッジに分かりやすく伝えようとする姿勢が両チームに見られました。田柄高校の皆さんの吸収力、応用力の高さが印象に残る体験会となりました。



2 ラウンドお疲れさまでした！エアー握手

体験会後のアンケートでは、8月5-6日にオンライン開催のPDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2022 にも、是非参加してみたいという声や、即興型英語ディベートの練習を通常授業でもやってみたいという声がありました。首都圏のみならず、全国各地の同年代の高校生たちと、お互いに切磋琢磨できる練習会や交流大会などで、田柄高校の皆さんのスピーチをまた聞ける機会を楽しみにしています。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 今回のディベートでは、いろいろと勉強になることが多く、特に自分自身の長所と短所がよくわかりました。とても楽しかったです。交流大会や合宿にもぜひ参加してみたいです。
- 準備時間やスピーチ時間の短いディベートスタイルでしたが、今日の体験会を通して、自分の足りない部分がどこなのかがよくわかりました。楽しかったです。大会や合宿にも参加してみたいです。
- 意見交換ができて楽しかった。もっと自分のスキルを上げたいと思った。通常授業でも即興型英語ディベートに取り組んでみたい。
- 私は初心者ですが、多くのことを学びました。今後の役に立つヒントをたくさん得られて、とても楽しい経験でした。
- 難しかったけれど、たくさん勉強になりました。楽しかったです。



PDA 浜松北高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年5月27日(金) 15:40~17:40

場所：オンライン (Zoom)

参加者：生徒24名、教員4名

スタッフ：横浜国立大学、東京外国語大学、PDA 認定教育ジャッジ

準備型のディベート経験はあるものの、即興型の英語ディベートは初めてということで、各スピーカーの役割を全員で確認し、即興型英語ディベート特有のルール POI (Point of Information) の練習を行いました。対戦表を確認したら、いよいよ実践①の論題発表です。



実践前に全員で POI 練習

実践①の様子

スピーチ準備時間は、論題発表後の15分間です。ラウンドが始まると、用意した自分たちの考えを、堂々と、聞き取りやすいきれいな発音で英語スピーチする生徒の姿に驚かされます。相手チームへの反論も即興でチャレンジします。また、相手に反論された自分たちのポイントにも、即座に再反論を行い、自分たちの主張を立て直します。チームメイトの力をかりて、チームワークで初めての即興型英語ディベートに取り組んだラウンドとなりました。ラウンド後は、お互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアー握手をします。その後、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 個人コメントとして、生徒1人1人に良かった点と次の実践②にすぐにかせる改善点がフィードバックされます。



相手チームとエアークラップ

ジャッジコメントを真剣に聞いています

実践②の様子

数分の休憩をはさんで、すぐに実践②の論題発表です。実践①でジャッジから受けた様々なアドバイスを活用して、聞き手により伝わりやすいスピーチ構成で議論が展開していきます。自分たちの主張を支える根拠となる「理由」に加えて、「具体例」の描写も実践①と比べて倍増しています。ジャッジからのアドバイスを即座にスピーチに反映できる浜松北高校の皆さんの吸収力、応用力の高さがとても印象に残る体験会となりました。



ベストディベーターを代表して

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒たちからは、「思いがけないハプニングの中でも、臨機応変に英語で対応できて良かった」、「たくさんの役立つアドバイスをもらった上に、それらのアドバイスを実践の中で試すことができ、貴重な機会になった」、「実践①での反省をいかして、実践②では具体例を加え、またポイントをたくさん広げすぎずに1つに絞って深めることもできた」などの感想が述べられました。

来月6月11日にはPDA 東海交流大会が、8月5-6日にはPDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会が予定されています。是非参加してみたいという声や、即興型英語ディベートの練習を授業でもやってみたいという感想が体験会後のアンケートで多く見られました。論理的思考力やチームワーク、コミュニケーションやプレゼンテーションの力を効果的に鍛えられるコンテンツとして、浜松北高校の皆さんにPDAの交流大会や定期練習会などを活用してもらえることを願っています。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 論題に対して、チームで話し合いをしたり相手チームからの意見を聞いたりして考えを深め、ディベートをするときのポイントや要点を詳しく知ることができました。とても楽しかった。授業でも、即興型英語ディベートを是非やってみたい。
- 難しいと思った反面、もっと頑張ろうと思えて、とても楽しかった。授業でもやってみたい。交流大会や合宿にもぜひ是非参加したい。
- ディベートをするときに、自分達の議論がいかに強いかを主張するための反論のしかたや、立論をするときの具体例のあげ方など、たくさん知ることができました。まだディベート部に入部してわずかですが、今回のアドバイスをもとに今後につなげていきたいと思います。
- 情報を整理できていなかったため、次に活かしたい。また相手の弱点を突くことも意識したい。POI は一回もしなかったため次はやってみたい。交流大会や夏合宿にもぜひ参加したい。
- チームプレーが想像以上に楽しかった。
- 限られた時間の中で論を考えて発表するのは、とても難しかったが、しっかりとした形式でパラメンタリーディベートをすることができて、とても新鮮で良い体験になった。
- 初めて英語でディベートをして、英語に苦手意識があったので、きちんと自分の主張を伝えられたのが嬉しかった。とても楽しかった。
- 初めてのディベートで、1回目はわからないことだらけで動揺してしまいましたが、1回目の手応えや悔しさ、アドバイス、相手チームの強みを踏まえて2回目に改善して実践することができて、自分の成長を感じた。もっと上手になりたいと思えた。とても楽しかった。
- とても為になる時間をありがとうございました。ここからの練習でもタイムプレッシャーを適度にかけてながら、部活全体でディベートのレベルを上げていけるように頑張ります。交流大会や夏合宿にも参加したい。
- チーム内での、コミュニケーションを取ることが難しいとおもった。初めてのディベートでも、堂々と言いたいことを言えた！授業でも、即興型英語ディベートを是非やってみたい。



PDA 栃木県立栃木高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月2日（木）16:45-18:45

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒13名

ジャッジ：PDA スタッフ、京都大学

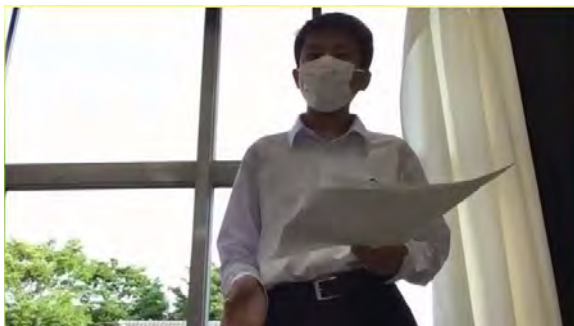
はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。即興型英語ディベートをするのは今回が初めてということで、少し緊張した様子も見られましたが元気づけてPOIのポーズをきめることができました。



POIの練習

実践（1）の様子

POIの練習を終えると早速実践です。スピーチシートを活用しながら、わかりやすく、そして具体例を豊富に用いたスピーチをすることができました。ジャッジによるフィードバック後に、準備時間の使い方について積極的に質問する様子も見られました。



ジャッジや相手チームとアイコンタクト



ジャッジに積極的に質問

実践（２）の様子

実践（２）は肯定側と否定側を入れ替えて実施しました。実践（１）でジャッジから受けたフィードバックを早速次のディベートで活かそうとする様子が見られました。「POI！」と発言し、質疑応答にもチャレンジしました。実践（１）よりもさらに理由や具体例を説明したり、比較したりしながらとても説得的なスピーチを披露しました。



ジェスチャーも交えてスピーチ

最後に、本日のディベートでベストディベーターに選ばれた生徒が「英語を即興で話すことが難しいと感じる場面もあったが、もっと英語の勉強を頑張ろうと思った機会となりました。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・具体例を用いて説明できたことが気持ちよかったです。言語化するのは難しかったけど、した時は楽しかったです。
- ・今回は授業をしていただき誠に有難う御座いました。これを機会に、英語ディベートの面白さを改めて感じる事が出来ました。今後も自分自身の能力を磨いて行きたいと思いません。
- ・自分の足りない部分がよく知れて、とてもいい体験になりました。普段単語帳をよくやっているつもりでしたが、やったことのある単語が出てこなかったり、どのように使っているかわからなかったりしました。今まで英語→日本語で単語帳をやっていましたが、日本語を英語に変えられるようになりたいです。また、単語をどのように使うのか(前置詞は何を取るなど)を意識して単語を身につけて、実際に使える英語力を身につけたいです。それに加えて、自分の主張の理由や例を言えるようにしたいです。主張→理由→例→主張を意識したいです。
- ・本当に難しかった。最初に意見を出して、英語に直して、相手の意見を聞いて、反論や質問を考えたりと、とても大変だったが、凄いやりがいを感じた。これからも、ディベートをやっていきたいと思った。
- ・英語で頭を使うことがこんなにも楽しい事なんだと知れて良かった。使いたい表現を決めて取り組んだ。
- ・皆で即興でディベートしあったり、英語で考えを発表して、とても楽しかったです。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

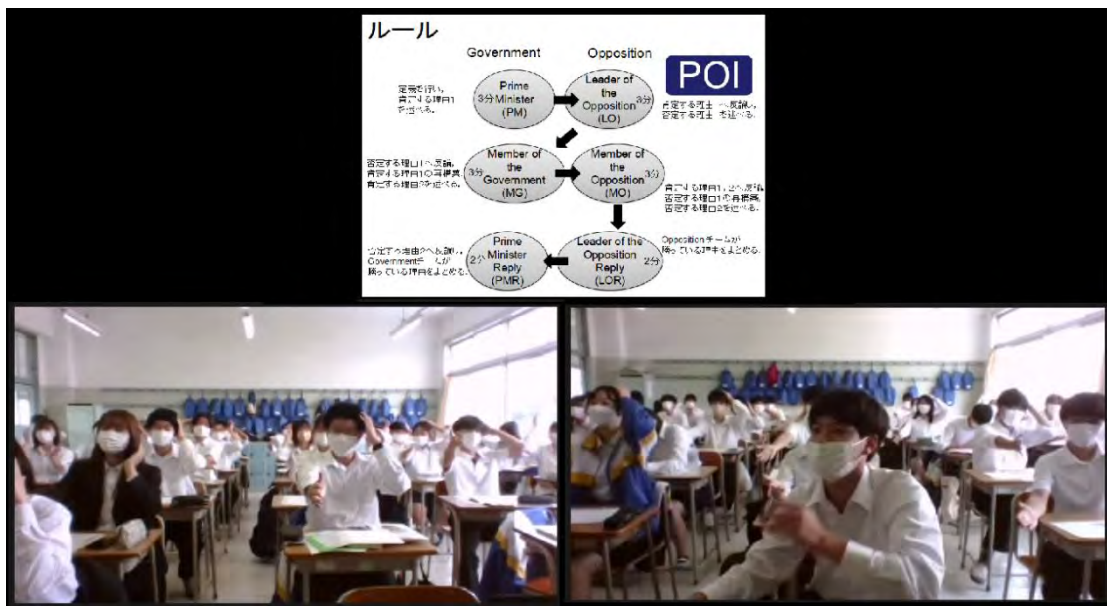
開催日時：2022年6月9日(木) 10:10~12:00

場所：オンライン (Zoom)

参加者：生徒 80 名、教員 1 名、

スタッフ：PDA 認定教育ジャッジ

50 分間の授業時間を使い、選抜 16 名 (4 チーム) がディベート実践を、ディベーター以外の生徒はジャッジ実践を 1 回ずつ行う形式で体験会を行いました。最初にルールの確認と、相手のスピーチ中に質疑を行う POI (Point of Information) の練習を行い、緊張を少しほぐしたら早速論題の発表です。



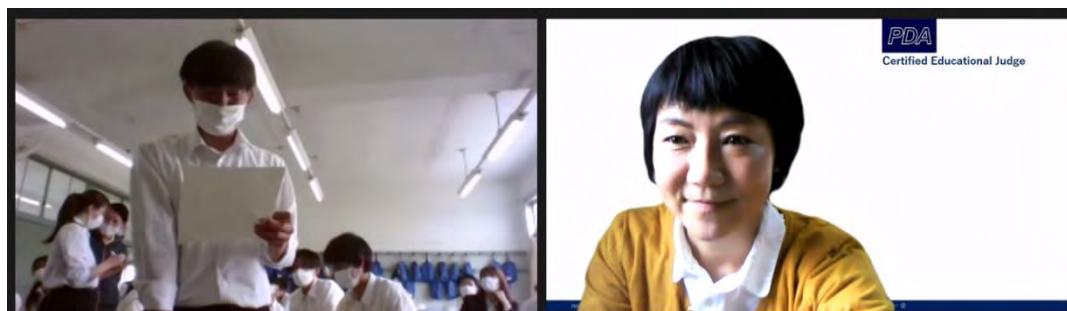
全員で POI !

準備時間の様子

論題発表後の準備時間 (15 分間) に、肯定/否定チームは仲間とアイデアを出し合い、自分たちのポイントを 2 つ考え、スピーチを用意します。ジャッジ体験の生徒たちは、ジャッジの仕方と心得を確認し、肯定/否定チームが提示しそうなポイントを予想しました。準備時間中に積極的に質問する生徒も多く、自ら学ぶ意欲の高い生徒が多い印象です。

実践①②の様子

実際のラウンドでは、緊張しながらも、スピーチシートに沿って、堂々ときれいな英語の発音でスピーチが繰り広げられました。また、現状の問題点や利点だけでなく、将来における必要性まで議論を深めるスピーチもあり、「表現」、「内容」ともに精一杯自分たちの考えを伝えられました。さらに、POI も飛び交い、相手チームの議論を正しく聞き取ったうえで、しっかりと反論しようとする姿勢も印象的です。



堂々としたスピーチ

ラウンド後は、お互いの健闘をたたえて、相手チームやチームメイトとエアークラッシュをします。ジャッジ体験の生徒挙手による投票後、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 個人コメントとして、ディベーターの生徒1人1人に良かった点と改善点が述べられました。



ラウンド後のエアークラッシュ

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 普段やらない授業で新鮮だった。とても楽しかった。クラスメイトの普段見られない姿が見られて良かったです。
- 私も今度は意見を言う役割（ディベーター）をやりたいと思いました。授業でも是非やりたいです。
- とても楽しかった。思っていたよりうまくできた、反論がよくできた。
- （ジャッジとして）中立の立場で考えるのは難しいと思った。即興で反論を考えるのが難そうだけど、楽しかった。
- みんなの考えを知ることが出来て、楽しかった。
- 即興なので、急で慌てたけどとても楽しかったです！



PDA 上宮学園中学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年6月9日(木) 14:10~16:10

場所：オンライン (Zoom)

参加者：生徒40名、教員3名

スタッフ：京都大学、国際基督教大学、PDA認定教育ジャッジ

肯定チーム、否定チーム、ジャッジチームに分かれ、合計4つのテーブルで一斉に即興型英語ディベートの実践を2ラウンド行いました。各スピーカーの役割とルールを確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI (Point of Information) の練習を全員で行った後、ジャッジの仕方と心得を確認し、早速実践スタートです。

元気いっぱいPOI!

実践①の様子

準備時間は論題発表後の15分間です。肯定/否定チームは仲間とアイデアを出し合い、自分たちのポイントを2つ考え、スピーチを準備します。ジャッジチームは配られた単語シートの語彙確認と、肯定/否定チームが出してきそうなポイント予想を行いました。

ラウンドでは、自分たちのポイントについて、主張する理由に加えて身近で分かりやすい具体例まで堂々とスピーチすることができました。また、早速POIを使い、相手チームに質疑を行う生徒も多く、相手の議論をよく聞き、反論しようとする姿勢も目立ちました。反論アイデアをチーム全員で考える姿も多くみられ、チームワークの良さが光ります。ラウンド後は、PDAのジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント (良かった点と改善点) が述べられました。



チームワークが光ります

実践②の様子

休憩をはさみ、実践 1 でジャッジから受けたフィードバックをいかし、実践 2 に挑みます。主張には、さらに具体的な例や分かりやすい説明が加わり、即興での反論にも、知っている語彙を駆使して理由を述べ、応答しようする姿が多くみられました。スピーチ時間も、実践 1 より長くなり、より説得力のある、聞き手に伝わりやすいスピーチになりました。



感謝の気持ちを込めて、対戦相手と握手を交わします

実践 2 でベストディベーターに選ばれた生徒たちからは、「準備時間が短くて大変だったけど、チームで協力してやりきることができて楽しかった」、「私の英語がジャッジの先生にちゃんと伝わったことが嬉しい」、「即興で反論を考えるのは難しかったけれど、チームの人の力も借りて反論がしっかりできて良かった」、「即興で考えるのがとても良い脳トレになった」などの感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 予想していた意見と違う意見があって、そういう考えもあるんだーと思って、とても楽しかった。この 2 時間はすごく速く感じました。8 月のディベート合宿や、交流大会にも参加してみたい。
- 緊張しながらも、楽しく英語を話せてとても楽しかった。英語のスピーキングが苦手でしたが、今回ので自信ができました。授業でも行ってみたい。
- 初めてなので緊張したが、自分自身の英語の可能性を広げることができた。苦手だった英語のスピーキングを普段以上に積極的に取り組む事ができて、とてもいい経験になった。
- 普段あまりしない経験なのでめちゃ緊張したけど、友達と楽しくできたのでよかった。とても楽しかった。
- いろいろ意見を交える事ができて、違う意見も聞けて楽しかったです。授業でも是非取り組みたいです。
- 改善点や良かったところを教えてくれたので嬉しかった。とても楽しかった。
- 相手の意見に、自分たちの意見で反論するのが楽しかった。マジで面白かった。
- 自分ではすらすらと英語を話せている自信はなかったのに、聞き取れるのがすごいなと思いました。交流大会にも参加したいです。
- ディベートは意外と楽しく、みんなが議論して、勝敗を決めるというのが新鮮で楽しかったです！
- いっぱい笑って、みんなの意見も聞けたので良かったです！楽しすぎました！

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月10日（金）15：50～17：50

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒7名、教員1名、

スタッフ：PDA 認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートを行うのは、ほぼ初めてという中学3年生～高校2年生までの学年混合チームで、ディベート実践を2ラウンド行いました。各スピーカーの役割をスピーチシートに沿って確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を参加者全員で行った後、ジャッジの仕方と心得を確認し、早速実践スタートです。



先生も一緒に全員でPOI！

実践①の様子

準備時間は論題発表後の15分間です。準備時間から積極的に質問が飛び交います。論題の曖昧さを取り除き、何について賛否を議論するのかを明確にするために「定義」を行うことを確認し、両チームともに準備を進めます。ラウンド実践では、早速POIが飛び交い、相手の議論に対して反論の布石を互いに打ちあう、白熱した実践となりました。

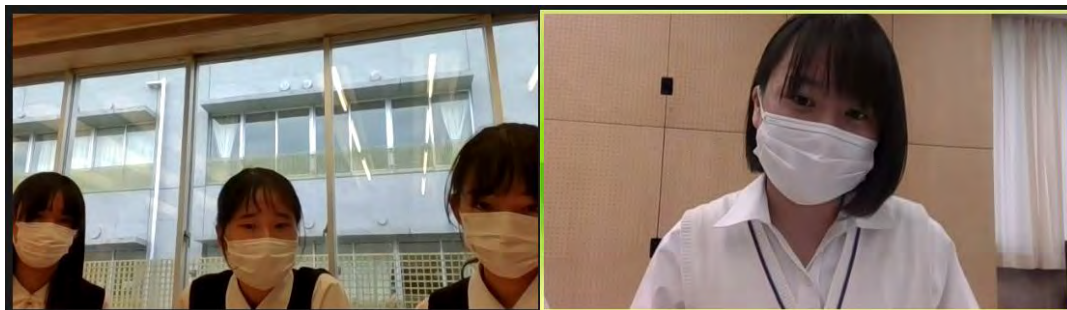
ラウンド後は、PDAのジャッジから、(1)勝敗(2)勝敗の理由(3)1人1人への個人コメント（良かった点と改善点）が述べられ、ベストディベーター賞、POI賞が発表されました。



チームで協力しあう準備時間

実践②の様子

休憩をはさみ、実践 1 でジャッジから受けたフィードバックをいかし、実践 2 では、さらにかみ合った反論や再反論が展開されました。



アイコンタクトも大事

相手チームの論点（ポイント）は、論題がなくても成り立ちます、という反論が打たれると、即座に再反論の中で、論題があるからこそ成り立つ利点です、と応答します。身近で分かりやすい理由や具体例まで添えての再反論や立論の応酬で、議論が非常に深まりました。また、スピーチ内容に加え、アイコンタクトやジェスチャーも十分意識してスピーチをする姿がみられました。



感謝の気持ちをこめて、対戦相手とエア握手

実践 2 でベストディベーターに選ばれた生徒たちからは、「ルール説明動画を前もって観たけれど、やってみないと分からない感じがして、とても緊張しながら参加しました。先輩方が優しくサポートしてくれて、ジャッジの先生からもアドバイスをもらったので、初めての即興型英語ディベートを楽しむことができました」、「初めての経験で、右も左も分からず、自分の語彙力が足りないことも感じました。だからこそ、もっと練習を続けたいと思いました」などの感想が述べられました。

清修中高一貫部の皆さんが、PDA 練習会や合宿、交流大会などで全国各地の同年代の生徒たちとお互いに切磋琢磨していく姿が目に見える体験会となりました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 初参加ですごく心配だったのですが、話したい事とか後から出てきて悔しいと思ってしまったり、言いたいことが言えて嬉しかったり、すごく楽しめました！先輩方と話したりもできて楽しく参加出来ました!!!
- 本当にすごく楽しめました。アイデアを沢山いただいて、次はこうしたいと思うようになって、もっと上手になりたいと思いました。先輩方の話や意見、語彙力など自分にはないものを沢山持っていてすごいと思いましたし、相手のスピーチがそう来るかと思うような意見ばかりで、他にも色々な意見を聞きたいと思いました。
- 今日の経験を通して、自分の英語力の低さを改めて実感しましたが、たくさん学びがあり、先輩との交流もあつたりと、とても良い経験ができました。今回が初めてだったので、やはり難しいと感じましたが、これからもディベートを頑張りたいなと思いました。
- 先生方や資料（スピーチシートや単語シート等）でサポートしてくれたので、リラックスしてできました。緊張していましたが、楽しかったです。もっと練習をしたくなりました。
- 1回目のディベートより、2回目のディベートの方が話せたように感じて、とても楽しめた。ディベートをする際のポイントがわかりました。
- 英語でなくても話すことが苦手なので、かなり大変に感じましたが、なかなか出来ない体験ができたので楽しかったです。
- みんなで話し合いながら、協力して出来たので楽しかったです。フィードバックを1人ずつ貰えたので、分かりやすかったです。
- しっかり話せた時の喜びが凄く大きくて、とても楽しかった。やりたいこと、足りないことが見つけられたので、すごくいい機会になりました。英語の勉強をもっと頑張りたいと思いました！



PDA 東海公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年6月11日(土) 13:00-17:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：5校、9チーム (愛知県立岡崎高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、静岡県立静岡高等学校、静岡県立浜松北高校、三重県立四日市高等学校)

参加者：生徒30名、教員12名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、慶應義塾大学、北海道教育大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「わからないことを伝えるということはディベートでもそれ以外でも重要です。POIを通して質問することにもぜひチャレンジしてみてください。」とメッセージが送られました。

次に、岐阜県立岐阜高校の石田校長先生より、「この交流大会にチャレンジしよう！という志はとても素晴らしい。Don't be shy! Don't hesitate! Let's enjoy!」とご挨拶いただきました。

次に、静岡県立静岡高校の小関校長先生より、「即興型英語ディベートではこれから必要になる力がつきます。ミスすることがあっても、それは次の挑戦に繋がります。ぜひ有意義な時間にしてください。」とご挨拶いただきました。

最後に、三重県立四日市高校の諸岡校長先生より、英語でご挨拶いただきました。「グローバル社会で重要な役割を担うみなさんにとって今日が素晴らしい日になることを願っています。Good luck!」とエールが送られました。



PDA 代表理事中川よりメッセージ



岐阜高校 石田校長先生よりご挨拶



静岡高校 小関校長先生よりご挨拶

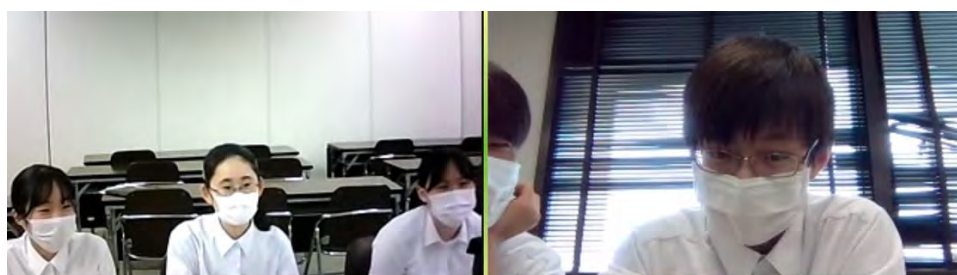


四日市高校 諸岡校長先生よりご挨拶

そして、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。



POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「**Cosmetic surgery should be banned. (美容整形を禁止すべきである。)**」でした。肯定側は手術が失敗するリスクや、整形後の顔に満足できず、整形を繰り返してしまうという点について、否定側はコンプレックスを解消するための選択肢の一つとして重要であることや、見た目が重視される社会の風潮などについて説明しました。



スピーチの様子（岐阜高校 B VS 四日市高校 A）



ディベート後のエアー握手（四日市高校 B VS 岡崎高校 A）



ディベート後のエアー握手（浜松北高校 VS 岡崎高校 B）



現地の様子（岡崎高校）



現地の様子（浜松北高校）

ディベートが終わると、ジャッジから、勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター、POIの発表などフィードバックが行われました。



ジャッジによるフィードバック（四日市高校B VS 岡崎高校A）

また、第1ラウンドの準備時間には、校長先生の集合写真の撮影も行われました。お忙しい中、日程調整・ご参加いただきありがとうございました。



校長先生集合写真

上段：左 四日市高校諸岡校長先生・中 PDA ディベート推進委員長大賀・
右 岐阜高校石田校長先生

下段：左 PDA 代表理事中川・右 静岡高校小関校長先生

続く第2ラウンドのお題は、「*It is better to study abroad during high school days than after entering university in Japan.* (留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。高校生と大学生ではどちらの方がより時間に余裕があるのか、留学の目的と照らし合わせた時にどちらの方がふさわしいのかなどについてPOIも交えながら活発な議論が交わされました。どのテーブルでも第1ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを活かそうとする様子が見られました。ディベート後ジャッジのフィードバックを待つ時間では、お互いの高校の様子や、好きな料理、部活などについて話し、交流する様子も見られました。



POI！（岐阜高校 A VS 四日市高校 C）



ジャッジによるフィードバック（浜松北高校 VS 岐阜高校 B）



ジャッジによるフィードバック（静岡高校 VS 岡崎高校 A）



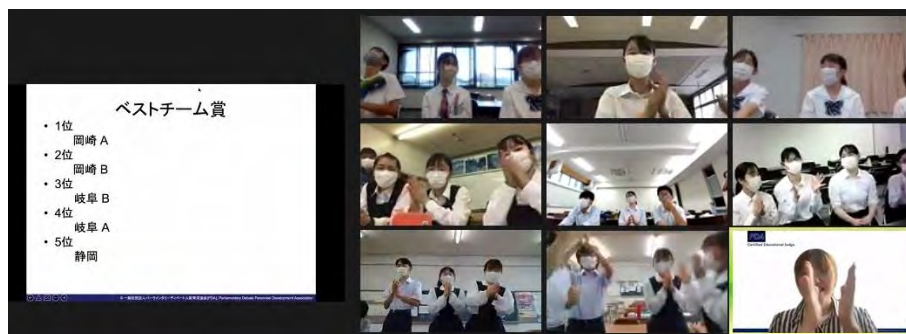
チーム集合写真（岡崎高校 A・岡崎高校 B・浜松北高校）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.* (園や小学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。両チームとも、子どもの特徴や、テストなどで順位がつくことと運動会で順位がつくことの違いなどについて深く分析し、堂々としたスピーチを披露しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Opposition (否定側) の勝利となりました。



エキシビジョンディベートの様子

閉会式では、エキシビジョンディベータ賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。



ベストチーム発表の様子

表彰式が終わると、2度ベストディベータに選ばれた生徒が「次のディベートの機会に向けてまた頑張りたいと思った。」と、本日の感想を述べました。



ベストディベータに選ばれた生徒による感想



頑張った自分に労いの拍手

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 浜松北高校 _____さん
- ・ LO 四日市高校 _____さん
- ・ MG 岐阜高校 _____さん
- ・ MO 岡崎高校 _____さん
- ・ LOR 岐阜高校 _____さん
- ・ PMR 静岡高校 _____さん



エキシビジョンディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1位 岡崎 A
- 2位 岡崎 B
- 3位 岐阜 B
- 4位 岐阜 A
- 5位 静岡



1位 岡崎高校 A チーム



2位 岡崎高校 B チーム



3位 岐阜高校 B チーム



4位 岐阜高校 A チーム



5位 静岡高校

〈ベストディベータ賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん (四日市 A) ★
- ・ _____さん (岐阜 B) ★
- ・ _____さん (岡崎 A) ★
- ・ _____さん (四日市 C)
- ・ _____さん (浜松北)
- ・ _____さん (静岡)
- ・ _____さん (静岡)
- ・ _____さん (岐阜 A)
- ・ _____さん (岡崎 B)



ベストディベータ賞

〈POI賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん (四日市 A) ★
- ・ _____さん (浜松北) ★
- ・ _____さん (静岡) ★
- ・ _____さん (岡崎 A) ★
- ・ _____さん (岐阜 A)
- ・ _____さん (岡崎 B)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・ いろいろ英語で表現したり、話し合ったりして、もどかしくもあったけど、楽しかった。（四日市高校）
- ・ 初めてベストディベーターに選ばれたのですごく嬉しかったです。すごく緊張しましたがいい刺激を受けました！（岐阜高校）
- ・ 自分の英語と英語ディベートの実力を向上させるための貴重な機会であったので、非常に楽しめた。（四日市高校）
- ・ 公式のディベートのジャッジをしてもらうことで、客観的な視点からのアドバイスを得ることができたのでよかったです。（岐阜高校）
- ・ チームのメンバーや他校の生徒と協力し、素晴らしい経験ができた。（静岡高校）
- ・ 参加者の皆さんの説得力があり、かつ綺麗な英語を聞き、刺激を受けた。まだまだ改善の余地が沢山あるなど感じました！ありがとうございました！（静岡高校）
- ・ 英語に苦手意識があったけれど、自分の意見をしっかりと伝えられたし、先生の方々に順序だてて出来ていて分かりやすかったと言っていただけだ。（浜松北高校）
- ・ もっともっと上手になりたいと思った。（岐阜高校）
- ・ みんなで相談しながら、英語で意見を主張したり、考えるのが面白かった。（岐阜高校）
- ・ 仲間とこちら側の意見が優れている理由を考え、相手側の意見も踏まえつつ頑張るのが難しかったけど楽しかった。（岐阜高校）
- ・ 前回の体験会で、ジャッジの方がくれたアドバイスや反省を活かせるように頑張ることができた。他の人のディベートからたくさんいい刺激をもらった。とても楽しかったので、また挑戦してみたいと思う。（四日市高校）
- ・ 今回で英語ディベートは二回目でしたが、体験会のときよりも周りや対戦相手のレベルがとても高くて、とても参考になりました。なかなかうまくできなかったのが悔しい気持ちもありますが、今日いただいたアドバイスなどを活かして今後もディベートをやっていきたいです。（四日市高校）
- ・ POI にチャレンジしたかったが、タイミングを逃してしまった。考えてから発言するのでは遅いとわかった。考えながら話す、ことができるようにしたい。（四日市高校）
- ・ いろんな人のディベートから学べたし、自分ももっと成長したいなど思われました。（岐阜高校）
- ・ 東海の様々な学校とディベートできて沢山の刺激を受けることができ参加して良かった。（岡崎高校）
- ・ 英語で話したことがジャッジの皆さんに理解されたときがとても嬉しく、これからも英語力を磨いてもっと多くの人とコミュニケーションをとりたいと感じました。（岡崎高校）
- ・ 様々な英語の使い方、理論の作り方が間近で見られて自分の英語に対する関心や概念がとても刺激されました。また英語以外にもはっとさせられるようなものの見方や視点の変え方が吸収できたのでこれを受けて、さらに色々な意味で成長出来たらいいなと思います。ただ私の英語力がまだ未熟なせいで心からディベートを堪能できませんでした。もっと英語力を向上させるため精進していき

たいです。(四日市高校)

- ・本日はありがとうございました。私は初めての大会だったのですが、自分なりにベストを尽くせました。また、他の高校の人の英語を聞いて刺激をもらいました。これからもっと英語を話そうと思いました。(岡崎高校)
- ・他校と交流して、まだディベートを始めたばかりの一年生の中でとても上手に説明できている人がいて、驚いたし、同学年でも流暢に、話している人もいて、今回の大会は自分にとって良い刺激になったと思っています。個人的にはエキシビジョンディベートで久しぶりにジャッジを試みて、肯定と否定のどちらが優位か、なかなか決めがたかったのですが、ジャッジ側に立つことで見えてくることもあって、ディベートをやるだけじゃなく、ジャッジの経験も大切だと実感しました。(岡崎高校)
- ・最初の頃より、反論や意見が少しずつ考えられるようになってきた。自分が考えた反論が立論の役にたったと感じた。(浜松北高校)

(教員の声)

- ・生徒が英語ディベートに果敢に挑戦する姿、対戦後に互いの健闘を讃えあう姿、そして、生徒の潜在能力の高さと成長に感動しました。
- ・チームで協力して伝え合う姿をたくさん拝見させて頂きとても刺激になりました。1年生は初めての交流大会でしたが、有志チームながらラウンドを重ねるごとに経験者の二年生の指導のもと団結して頑張る姿が印象に残っています。ディベートの輪がもっと広がるといいです。



PDA 白鵬女子高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月14日（火）8：45～10：45

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒16名、教員2名、

スタッフ：京都大学、PDA認定教育ジャッジ

1限目、2限目の授業を用い、テーブル2つに分かれ、ディベート実践を2ラウンド行いました。各スピーカーの役割をスピーチシートに沿って確認し、相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を参加者全員で行った後、ジャッジの仕方と心得を確認し、早速実践スタートです。

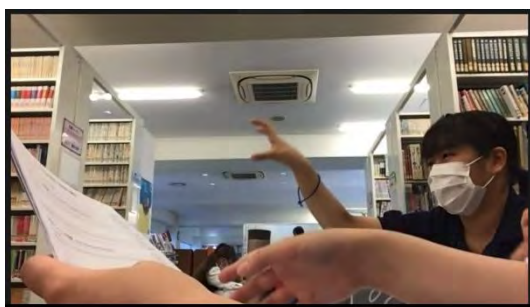


全員でPOI！

実践①の様子

論題発表後の準備時間中（15分間）に急遽場所を移動することになりましたが、生徒たちは論題を肯定/否定する理由や現状の問題点、論題がどのように問題点を解決できるのかななどを、しっかりとチーム内で考えながら移動していました。ラウンド実践では、自分たちが用意した考えに加えて、その考えを支える根拠となる理由や、身近な具体例まできれいな発音と、聞き取りやすい英語表現で描写できました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、（1）勝敗（2）勝敗の理由（3）1人1人への個人コメント（良かった点と改善点）が述べられ、ベストディベーター賞が発表されました。



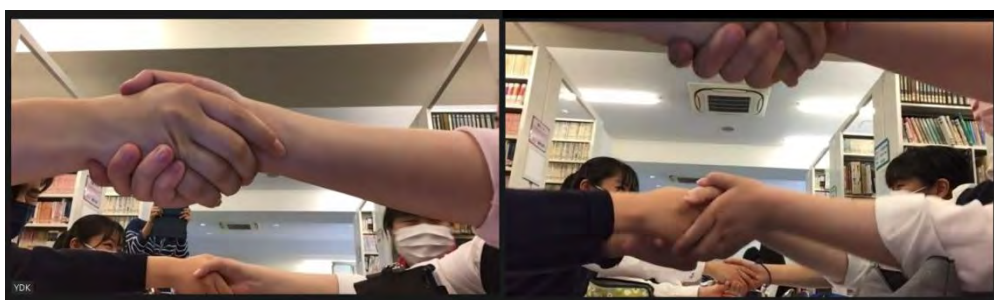
チーム内でコミュニケーションをとり、協力しあう準備時間

実践②の様子

休憩をはさみ、実践 1 でジャッジから受けたフィードバックを、早速実践 2 にかします。キーワードに加えて、さらなる説明が追加され、スピーチの構成もより分かりやすく、反論にも理由や具体例を即興で添えるなど、議論がぐっと深まります。また、スピーチ内容だけでなく、アイコンタクトやジェスチャーも効果的に使いスピーチをする姿が多くみられました。

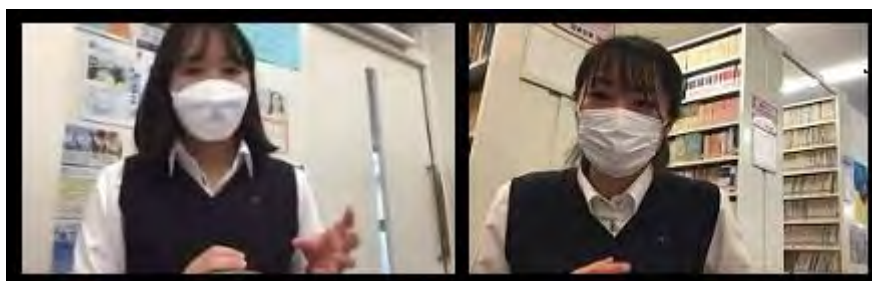


ジェスチャーやアイコンタクトも大事



感謝の気持ちを込めて、対戦相手と握手を交わします

実践 2 でベストディベーターに選ばれた生徒たちからは、「自分では思いつかないような根拠や理由が相手チームから出て、新鮮で面白かった」、「自分たちのチームのスタンスがブレないように意識しながら、立論や反論、再反論をするのは難しかったけど、たくさん頭を使ってとても楽しかった」などの感想が述べられました。



ベストディベーターを代表して

白鵬女子高等学校の皆さんが、PDA 練習会や夏合宿、交流大会で、全国各地の同年代の生徒たちとお互いに切磋琢磨しながら論理力や表現力を高めていく姿が目に見え、体験会となりました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 即興で、しかも英語で全て話して聞く必要があったので、すごく難しかったのですが即興だからこそできたディベートで、自分とは違った意見をたくさん聞くことが出来てすごく楽しかったです。
- みんなの前で順序立てて考えを共有し、そして相手に反論もする必要があるというのはとても大変なことでしたが、脳がとても活発に動いている感じがして面白かったです。もっと経験を重ねて上手になりたいなと思いました。夏合宿に是非参加してみたい。交流大会にも、参加したい。
- 今日は、2時間続けてディベートをしましたが、1回目のディベート経験やアドバイスをいかして、2回目はさらに発展させようと努力できたので、本当に良い経験になりました。
- 自分の発言に対して、的確なアドバイスをくれて驚かされました。授業でも即興型英語ディベートに是非取り組みたい。
- どう反論したら相手の論点に効果的か、を考えながら話すのがとても面白かったです。トピック（論題）が面白かった！
- 即興型英語ディベート授業に参加できてすごく楽しかったです。即興で英語という難しさを感じましたが、自分では考えないような意見を聞くことが出来るディベートは学べることが多くて、とても為になりました。
- とても短い時間なのにも関わらず、一人一人をしっかり分析し、改善点や今後に繋がるアドバイスを的確に伝えてくださって凄いなと思いました。頂いたアドバイスを活かして今後も頑張ります！



PDA 長崎南山高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月15日（水）14:05-16:05

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒21名、教員3名

ジャッジ：PDA スタッフ、大阪公立大学、PDA 認定教育ジャッジ

はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information) の練習を行いました。ミュートを解除し、「POI！」と言いながら、実戦に向けて POI のウォームアップをすることができました。



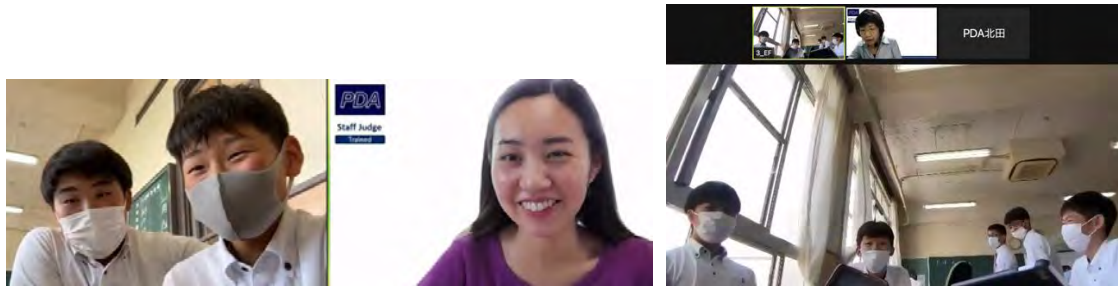
実践（1）の様子

POI の練習

実践（1）は、*Homework should be abolished.*（宿題を廃止すべきである。）という論題について、肯定と否定に分かれてディベートしました。15分の準備時間ののち、一人一人がスピーチしました。ディベートが終わると、相手チームと健闘をたたえてエアークラッシュを交わしました。



ディベート後のエアークラッシュ



ジャッジによるフィードバック

実践（２）の様子

休憩を挟み、早速実践（２）の開始です。実践（２）の論題は、***High school students should have part-time jobs.***（高校生はアルバイトをすべきである。）でした。実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かしながら、より具体化されたスピーチを披露しました。肯定側は、コミュニケーションの重要性やアルバイトを通じた学び、成長について主張し、否定側は、事件に巻き込まれるリスクや、成績の低下について主張し、とても白熱した議論となりました。



アイコンタクトをしつつ、具体例を用いた説得的なスピーチを披露

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「楽しくディベートできた。またやりたいと思った。」「もっと単語を勉強しなきゃと感じた。」「１回目よりも２回目の方がいいスピーチができて嬉しかった。」「文法をさらに勉強したいと思った。」「２回とも楽しくディベートできた。」と感想を述べました。



本日の感想を述べる生徒たち（一部）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 英語を使いディベートをするのがよく英語のスキルアップできた。
- ・ まだまだ英語で意見や反論が言えなかったので次は言えるようにしたいと思った。
- ・ 難しかったけど、とても楽しかったです。
- ・ 頑張って勉強してすぐに英語で答えられるようになりたいと思った。
- ・ とても楽しかったです。
- ・ 英語での表現がまだまだ苦手だからできるようになりたいと思った。
- ・ 自ら、考えて、発言するのが難しかったです。
- ・ 今回は初めてやって、楽しかったけど英語であまり話せなかった。次はまとめ役もやってみたい
- ・ 英語の単語をもっと覚えないと考えた。



不二聖心女子学院高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月17日（金）10：35～12：15

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒35名、教員2名、

スタッフ：国際基督教大学、東京大学、PDA認定教育ジャッジ

3、4限目の授業を用い、テーブル3つに分かれ、ディベート実践を2ラウンド行いました。相手のスピーチ中に質疑を行うPOI（Point of Information）の練習を参加者全員で行った後、ジャッジの仕方と心得を確認し、早速実践①の論題発表です。



全員でPOIの練習！

実践①の様子

論題発表後の準備時間中（15分間）に、各生徒は論題を肯定/否定する理由や自分たちのポイント、分かりやすい具体例などをチーム内で考えながら、デバイスの準備ならびにZoomミーティングルームへの入室作業も同時に行いました。ラウンド実践では、自分たちが用意した考えを支える根拠となる理由や、身近な具体例まできれいな発音と、聞き取りやすい英語表現で描写できました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、（1）勝敗（2）勝敗の理由（3）1人1人への個人コメント（良かった点と改善点）が述べられます。ジャッジからのアドバイスを真剣に聞き、次のラウンドのためにメモをとる姿もみられました。ジャッジからベストディベーター賞の発表後、休憩をはさまずに実践②の論題発表です。

実践②の様子

実践①でジャッジから受けたフィードバックを、早速実践②のスピーチにいかす生徒が

多く、不二聖心女子学院高等学校の皆さんの吸収力、応用力の高さに驚かされます。

両サイドの議論のうち、最も重要なこと（争点）を取り上げ、争点に対して、自分たちの議論が相手チームの分析や説明よりも勝っていることを示す「まとめ役」（LOR と PMR）は、初めて挑戦するには難しい役割ですが、自分たちの強いポイントでまとめるだけでなく、相手チームのポイントにも触れたうえで、しっかりと自分たちの議論の優位性を述べることができました。即興での反論にも、理由に加えて、とっさに具体例まで添えるなど、議論が深まりました。



話す方も聞く方も真剣です



感謝の気持ちを込めて、対戦相手とエア握手

体験会後のアンケートでは、今回行った即興型英語ディベートを、授業でもやってみたいという声や、PDA 夏合宿や交流大会にも参加したいという声が多く聞かれました。全国各地の同年代の生徒たちとお互いに切磋琢磨しながら、論理力や表現力を高めていける PDA のイベントやコンテンツを、不二聖心女子学院高等学校の皆さんに是非繰り返し活用してもらいたいと願っています。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 初めてのディベートで緊張していましたが、もう一度参加してみたいと思えるような学びのある楽しい体験をすることができました。
- 普段から授業ぐらいしか英語を使う機会がなく、意見を述べる際にしっかりと文を組み立てて相手に意見を伝えたり、仲間の意見をまとめることができるか不安でしたが、チームで協力し合って意見を出し合ったり知っている単語を振り絞って文を作るという体験が新鮮でした。ジャッジの方も優しく丁寧な対応をしてくださり本当に楽しかったです。授業でも行いたいです。
- 100 分間頭をフル回転させて、日々の授業で習った文法を活かして英文を作り、相手の意見への反論も考えられる機会は初めてだったので、やっていた楽しかったし、やりがいを感じました。ジャッジ側も担当して、ディベートを客観視して少しの表現で強い意見を言える言葉の強さがわかり、とても面白かったです。授業でも取り組みたいし、交流大会にも是非参加してみたい。
- 普段、英語だけで話をしたり会話をしたりすることがないので、新鮮でした。私はまとめの役割だったのですが、人の話を聞いて英語で解釈するのは面白いなと思いました。
- 自分の意見やチームの意見を英語でその場で話すのはとても難しかったです、楽しかったです。日本語だと思いつくのに、英語だとなんて訳していいかわからないということが多くもどかしいということもあったので、もっと単語や熟語を使いこなせるようになりたいと思いました。授業でも即興型英語ディベートに是非取り組みたい。8月のPDA合宿にも参加したい。
- 今回は私の英語のスピーキング力についての課題・改善点をよく知ることが出来たと思います。これからは自分の意見を発表していく機会が増えると思うので、英語力を高めていきたいなと思いました。
- 英語でコミュニケーションがとれたこと、自分の英語能力向上にもなって、とても楽しかったです。日本語で文章の構造を考えるように、英語でも、肯定や否定、具体例や理由、実体験などをふくめて相手に自分の意見を述べる楽しさを学びました。
- チームメイトや相手のチームも一生懸命取り組んでいて、お互いに相手の意見を聞こうと真剣に取り組んでいたこともあり、雰囲気がとても良かった。思っていたより学びのある体験でとても楽しかったです。
- PDA ジャッジの方々が、生徒の文法ミスや語句ミスを分かっているながらも最後まで聞いてくださり、ラウンド後は、一人ひとりに簡潔にフィードバックを述べてくださり、私たちの今後の糧となりました。



PDA 東京都立忍岡高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月22日（水）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒8名、教員3名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。「POI のポーズ、知っていますか？」とたずねると、すかさず POI のポーズを披露してくれました。スタッフの「せーの！」の合図に合わせて元気よく POI の練習をすることができました。



POI の練習

実践（1）の様子

実践（1）は、***Homework should be abolished.***（宿題を廃止すべきである。）という論題について、肯定と否定に分かれてディベートしました。宿題で成績は上がるのか、勉強以外に重要なことはないのか、といった点について議論しました。ときには、自分のエピソードを具体例として説明しながらスピーチをする場面もみられました。



準備時間



スピーチの様子



スピーチの様子



実践（２）の様子

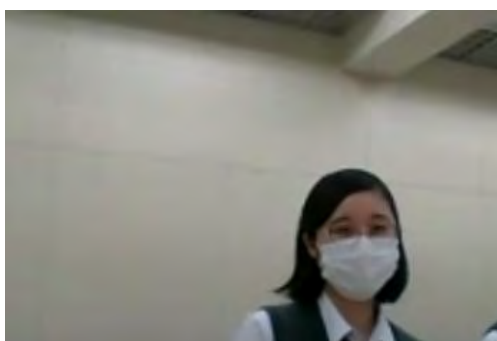
休憩を挟み、早速実践（２）の開始です。実践（２）の論題は、***High school students should have part-time jobs.***（高校生はアルバイトをすべきである。）でした。実践（１）でジャッジから受けた理由を説明する、具体例を話してみる、相手の理由に対して反論するなどのアドバイスを活かしながら、より具体化されたスピーチを披露しました。アルバイトからどのようなことが学べるのか、社会経験はアルバイト以外のどのような場で身につけ得るかなどについては特に具体例が豊富に提示され、甲乙つけがたいディベートとなりました。

ディベートが終わるとおたがいの健闘をたたえてエアー握手を交わしました。



ディベート後のエアー握手の様子

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「英語でディベートするということで緊張したが、よくやれたという気持ちもあり、感動している。チャレンジしてよかった。」「英語は苦手な方だが、今日は楽しく英語を用いて学習できた。」と感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 英語でといったいつもと違う感覚で楽しかった。慣れなかったけどとても楽しかった。
- 即興型で事前に準備することができなかったので、すぐに英文を考えることが出来ず先輩たちに頼りすぎてしまいました。
- その場で即スピーチを考えて言える方や自分なら絶対思いつかない考えを学べてすごく勉強になりました！ またもっと英語の勉強頑張らなくてはいけないなと身にしみて感じました。



PDA 静岡理科大学星陵高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年6月23日（木）17:10-18:45

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒7名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ

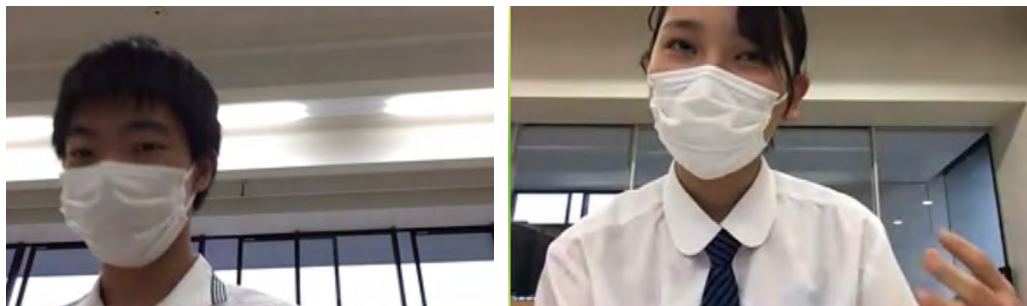
はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information) の練習を行いました。POI は、相手チームがスピーチしているときに質疑応答を要求することができるルールで、相手のポイントをより正確に理解したり、議論を深めたりするために重要なルールです。スタッフの「せーの！」の合図に合わせてばっちり POI のポーズをきめることができました。



POI の練習

実践の様子

実践の論題は、***Homework should be abolished.***（宿題を廃止すべきである。）でした。肯定側は、勉強のモチベーションや睡眠時間の確保について、否定側は学力や我慢強さについて説明しました。また、自身の学校の例を挙げたり、将来への影響を具体的に説明したりなど、説得的なスピーチにするための工夫も見られました。



スピーチの様子



スピーチの様子



ディベート後のエアー握手

質疑応答の時間では、長くスピーチを話すコツや、英語が出てこないときの対応、論理的思考力を身につけるために普段からできることなどについてPDA スタッフより解説が行われました。最後に、ベストディベーターに選ばれた生徒が「これからも視野を広げてディベートしたい。」と感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・英語が苦手であり話せなかったけど、他の人の英語をききとれた時に、表現の発見があって面白かった。全てのことにに対してなんで？なんで？って考えるのが新鮮でも難しかった。またやってみたい。
- ・新しい視点を発見したり、新しい反論方法を学んだりとても有意義な時間になった。
- ・人生で2回目のディベートだったのですが、うまく話せたなと思う点もあれば、先生からのアドバイスを受けまだまだだなと感じる点もありました。しかし、1回目のディベートよりも楽しみながら話すことができたのでディベートに対する興味がより深まりました！
- ・短い時間の中で反論を考えたり、それを英語で表現したりすることは普段しないので、とても難しかったです。それと同時に、普通の学校の授業では学べないことが英語ディベートを通して身につけられると実感しました。



2022 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年6月24日(金) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 34 名(横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、神奈川教員 (PDA 認定教育ジャッジ)

はじめに、学力向上進学重点校連絡会 グローバル教育ワーキンググループ代・神奈川県立柏陽高等学校校長 井坂先生より、「将来の日本がどうあるべきか、生徒の学力をどう上げていくかを考え、グローバルで活躍できる人材育成のために有意義な研修にしてください。」とご挨拶いただきました。その後、4校の校長先生より、ご挨拶いただきました。



柏陽高校 井坂校長先生によるご挨拶



横浜平沼高校 小島校長先生



横浜国際高校 本郷校長先生



川和高校 師岡校長先生



横須賀高校 鎌倉校長先生

次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事 中川智皓より、「即興型英語ディベートの授業導入に向けて」と題し、オリエンテーションが行われました。研修の目的や、学習指導要領に対応したディベートの導入方法などについて解説が行われました。

また、論理・表現 I に対応した、“Summary & Refute”（ミニディベート）の実践も行われました。3人1組になり、お題の“High school students should have part-time jobs.”（高校生はアルバイトをすべきである。）について、肯定、否定、肯定の順に短いスピーチ時間で行うミニディベートを体験しました。



PDA 代表理事 中川によるオリエンテーションの様子



POI (Point of Information: ディベート中の質疑応答) の練習

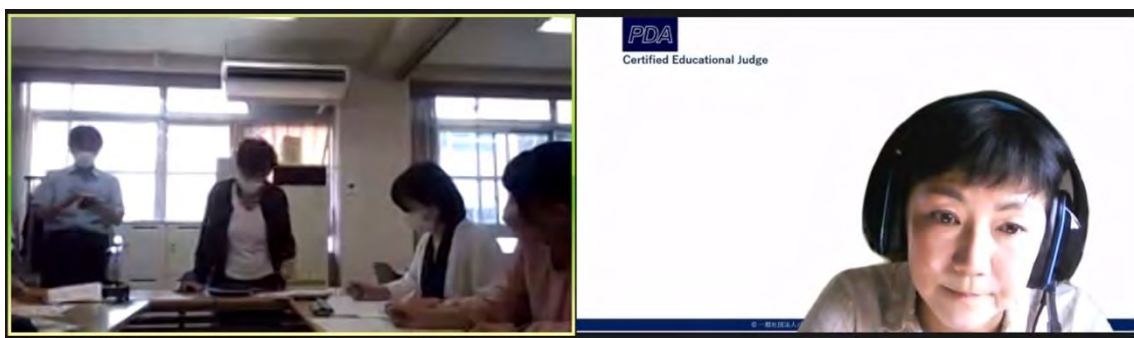
質疑応答の時間は、すでに授業で即興型英語ディベートを導入している高校の事例などについて質問の手が挙がりました。



質疑応答の様子

休憩をはさみ、ディベート実践・ジャッジ実践が行われました。本日の論題は、“Death penalty should be abolished.”（死刑を廃止すべきである。）でした。これまでの研修でディベートの経験がある人と、今回が即興型英語ディベートをするのが初めての人が混ざり、チームワークを発揮してディベートを行いました。海外の実例などを用いながら説得的なスピーチを披露する場面も見られました。

中にはジャッジチームとして、ジャッジに挑戦した人もいました。ディベートが終わった後、勝敗とその理由を一言説明しました。



ディベート実践の様子



POI (質疑応答)の様子



ディベートの様子



ジャッジチームによる司会進行



ディベートの様子

最後のまとめでは、ディベート実践でベストディベータに選ばれた先生が本日の感想を述べました。「相手チームが何を伝えたくてその話をしているのかや、論題の社会背景を考
えることが重要なのだと学ぶことができました。」「実際に授業の中でこの即興型英語ディ
ベートを導入しました。今回ベストディベータに選ばれたのも、現場で生徒を指導するこ
とを通していろいろな学びを得られたからだと思います。」「不安だなと思いながら参加しま
したが、いざディベートをしてみると、もっとディベートしたいなと思いました。」と感想
を述べ、研修が終了しました。



ディベート実践でベストディベータに選ばれた先生（一部）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベートは楽しいですし、やはり英語力向上につながることを改めて理解しました。これからも頑張りたいと思います。
- ・他校の先生方と交流する機会がなかったので、学ぶことが多かった。
- ・自分自身がディベートを体験し、英語でうまく表現ができず悔しい思いをしたり、テーマについて考えることができたので、生徒にもこの体験をしてほしいと思いました。ありがとうございました。残りの日程も頑張ります。
- ・ディベートの実践だけでなく、詳細なジャッジと、フィードバックをもらうことが出来ました。授業で行うディベートをより充実させる事ができそうです。
- ・題材について、もっと学びたいと思ったり、もっと英語で表現したいと考えたり、生徒が経験するだろうことを体験できました。また、フィードバックにおいて、さらに深めていく視点を得られたのがよかったです。
- ・ディベートを初めて行いました。自身の課題が見つかった共に、授業での取り組み方も詳しく教えてもらえたため非常に有意義な時間となりました。学んだことを授業で実践します。
- ・1クラス40人ですが、4×10で試してみたいと思います。
- ・初めて本研修会に参加しましたが、ディベートに実際に取り組んでみて、授業改善とともに自分自身の英語力向上が必須だと強く感じたので、とても参加できてよかったです。



PDA 奈良県立奈良高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年7月12日(火) 10:00-12:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒17名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学、PDA認定教育ジャッジ

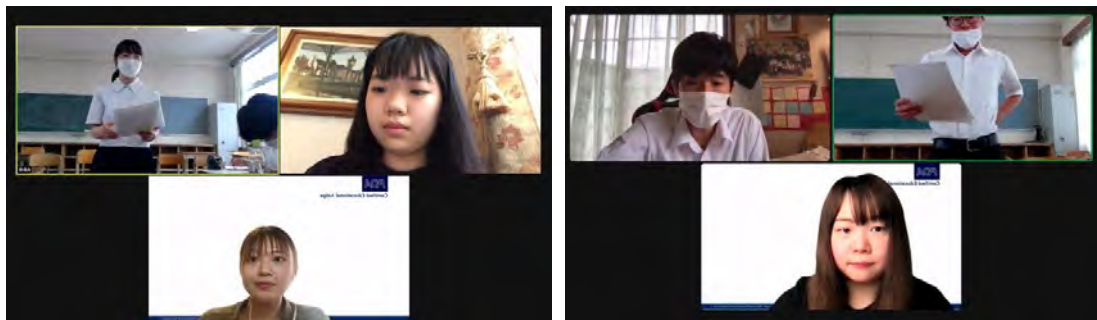
はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。POIは相手チームのスピーチ中に質疑応答をリクエストすることができるルールで、議論を深めるためにとても重要です。POIは片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばしたポーズで行います。POIの練習ではそのポーズをきめることができました。



POIの練習

実践(1)の様子

ルールの確認を終えると早速ディベートの実践です。15分間の準備ののち、肯定と否定に分かれてディベートを行いました。ときにはPOIで質疑応答をして、議論を深めようと試みる場面も見られました。



スピーチの様子

実践（２）の様子

休憩を終えると、第２ラウンドの開始です。第１ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを活かそうと、論題のキーワードの特徴を分析したり、反論にも理由や具体例を添えて説明したりする様子が見られました。

ディベートが終わったらエアークラッシュをし、お互いの健闘をたたえました。また、ジャッジから勝敗とその理由、個人コメントなどのフィードバックが行われました。

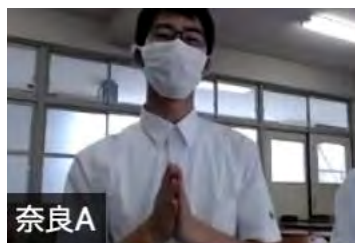


ディベート後のエアークラッシュ



ジャッジによるフィードバック

最後に、第２ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が、「ベストディベーターに選ばれて嬉しい。とても楽しくディベートに取り組むことができた。」「いろいろな人とディベートすることでたくさん考えることがあって、学びがあった。」「個人コメントをいただけて、伸ばすべきところと改善点がわかってよかった。」と感想を述べ、体験会を終了しました。



本日の感想を述べています

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・即興で英語を話すことは難しかったが、とても楽しかったのでまた挑戦してみたいと思いました。
- ・普段使わない英語を話すことにより、頭を回転させることができた。
- ・良い経験になりました。楽しかったです。
- ・とても緊張したが、メンバーと話すうちにほぐれていき楽しむことができた。またディベートの勝敗以上に達成感があった。
- ・メンバーと協力しながら意見を構築するのが楽しかった。
- ・講師の方々のアドバイスがわかりやすく、今度から意識すべきことがわかって、とても役立ちました。
- ・自身の良い点・悪い点を明確にさせていただけたおかげで、どこを直せば良いのか、何をそのままにしておくべきか、等が分かりやすかったです。
- ・まだまだ英語力を伸ばす必要があることを痛感した。